



全国大会前夜祭にて
(右より小原, 中井, 山口)



総 会 風 景

第2回全日本選手権大会



武内 夫人
 武内 信一郎
 種垣 信夫
 富中 暁
 荻野 茂希
 大西 繁
 前田 寿
 中井 三郎
 植西 勝
 佐敷 定雄
 印南 修三
 (三列目)
 平井 洋
 山川 初雄
 福永 拓造
 大野 整
 桑川 義男
 宮本 伯夫
 小山 賢之助
 山田 幸男
 吉野 栄
 大西 真博
 山口 宗樹
 伊藤 英二
 大内 義仁
 (二列目)
 富岡 洋三
 上田 剛弘
 慈幸 弘樹
 杉山 和弘
 平野 輝雄
 平石 康
 後藤 信人
 佐藤 弘之
 中西 康之
 白子 靖則
 酒井 潤
 後藤 芳光
 (前列)

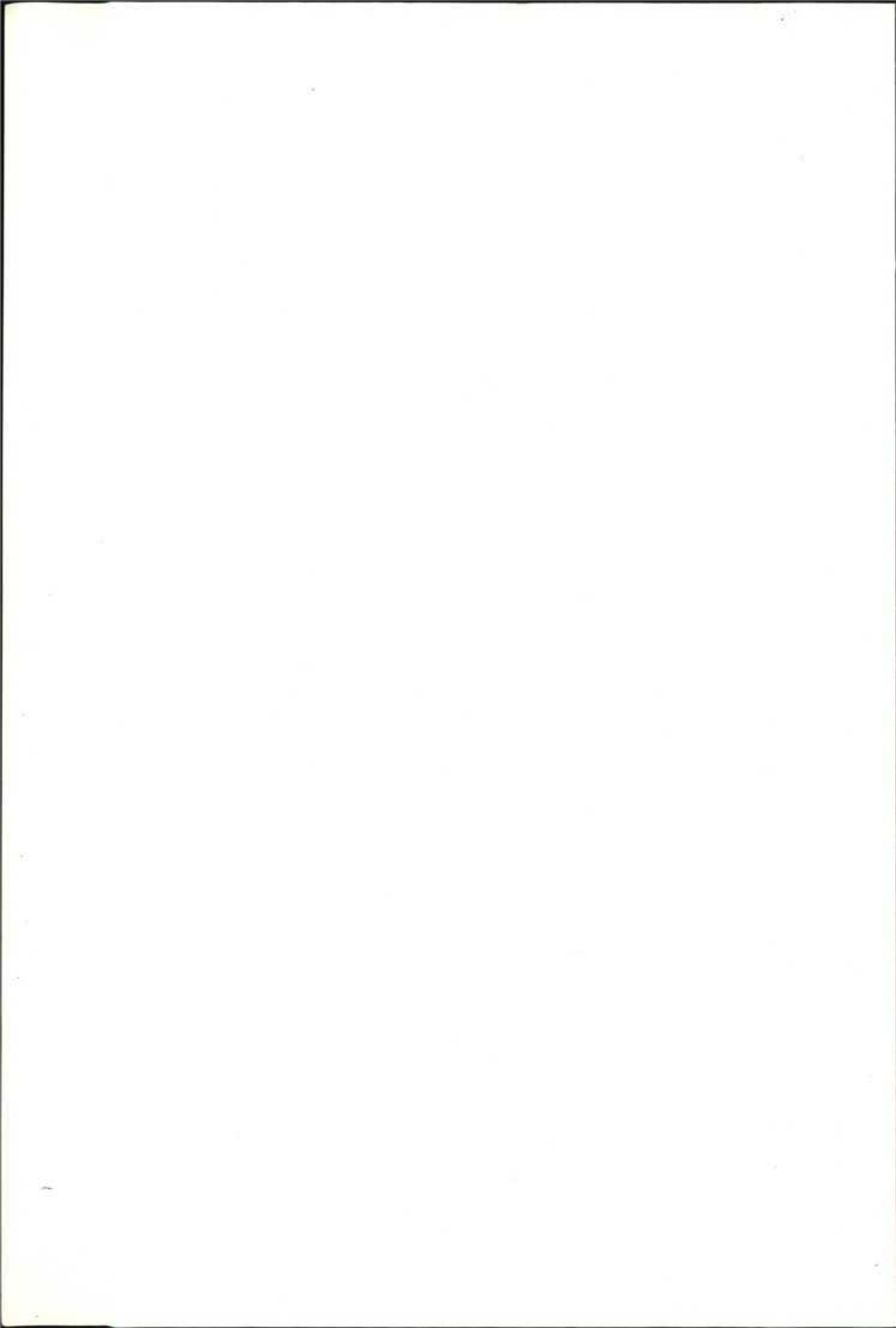
丸山 豊也
 藤岡 治男
 横田 興二
 平岡 昭朗
 滝沢 章三
 山田 貴彦
 米田 啓祐
 高岡 保宏
 鈴木 剛弘
 北村 敏
 松田 司郎
 柴川 泰介
 岡見 晴児
 山口 仁郎
 岩切 博
 大橋 進
 井上 史郎
 (後列)
 柳本 正雄
 田淵 五郎
 溝口 注
 神原 修三
 小原 祥男
 石井 義章
 村岡 英樹
 岡本 司
 富岡 道雄
 坂山 映子
 以西 吉一
 宇賀 史郎
 得丸 哲士
 井上 志男
 (四列目)
 長谷川 健
 岡田 重義
 橋本 力
 西岡 良宏
 小西 信次



正装の現役部員



神戸商科大学との合同春合宿
(鳥取県 浜村温泉)



目 次

(表紙題字 藤井正太郎先生)

追悼 北村五良先生		1
北村五良先生の思い出	昭7学 小山賢之助	1
水辺雑感	昭27学 石井 義章	5
初泳ぎ雑感	昭30 T 橋本 力	7
凌泳会全国大会前夜祭の集い	昭32 J 松田 司朗	8
第二回凌泳全国大会	昭47 J 井上与志男	8
懇親ゴルフ会	"	10
凌雪会見聞録	昭49 A 佐敷 定雄	11
関西インカレ一部の重み	昭53 A 酒井 正人	12
会員からのお便り		
総会案内状返信より		13
月見の宴 案内状返信より		14
現役部員寄稿		21
部員への提言	主将 金 一波	21
水球主任として	副将 高城 俊介	22
現役部員紹介		24
昭和56年度活動報告		30
昭和56年度行事報告		49
現役部員自己最高記録一覧		50
歴代十傑表		52
昭和56年度決算報告		57
昭和55年度予算		58
昭和56年度凌泳会費寄付金醸出者御芳名		59
凌泳会会則		61
凌泳会役員名簿		64
凌泳会会員名簿		66
「商神」「応援歌」		91
編集後記		96

追 悼

北村五良先生

神戸商業大学初代水泳部長、北村五良先生は、昭和56年7月21日 老衰のため西宮市の兵庫医科大学附属病院において逝去されました。行年80歳でありました。

御葬儀は22日、西宮市聖天寺に於て各界の名士多数参列の下、盛大に執行なわれ、当凌泳会からは、吉野副会長に代表として参列頂きました。ここに謹んで御報告申し上げますと共に、先生の御冥福を皆様と共に祈り致し度いと存じます。

北村五良先生の思い出

昭7学 小 山 賢之助

昭和4年4月、神戸高商が神戸商業大学に昇格することが確定した。その前年即ち昭和3年の水泳シーズンの終わった頃、各運動部で大学に残らない先生を部長に載いているところは、大学に残る先生を部長にお願いしようということになった。水泳部では長らく小川忠蔵先生が部長であられたが、小川先生は大学には残られないと伺っていたので、新しい部長をきめなければならないのである。そこで誠に失礼なことではあるが、大学に残る先生の中から部長先生を物色することとなった。水泳部であるから部長は「泳げる」人でなければならないという、詮衡基準を設けて当たってみるところ、北村先生は大阪の堺中学出身で多分泳がれるのではないかということであった、堺中といえば当時大浜海岸という海水浴には持ってこいの浜辺に近く、水泳部も強かったが、先生は競泳とまでは行かなくとも、遠泳をやって居られ、五里完泳の記録もあるという。衆議一決、先生にお願い然るべきということになった。ところが先生は、ナカナカ理想が高く完全主義者であられるというので、余り強くない水泳部の部長を引き受けて頂けるかどうか一抹の不安があった。当時校内で強い運動部といえば、庭球部、これはデビスカップ選手を兩三度にわたって出して居り、その実力は国際的であった。次いで日本一の排球部、もっとも、中国には勝てなかった。以下相撲、陸上競技

とくるのであるが、陸上競技部は対東京商大戦では常に圧勝して居るのに対し、水泳部は、一ツ橋に三連敗を喫しているのである。北村先生は陸上競技部の部長であった。

恐る恐る、草野君と一諾をお願いに上ったところ、案外簡単にOKを下さったので、「案ずるよりは、産むが易い」と思ったことであった。ところが、そのあとがいけない。水陸両部長になられた先生は、アムステルダム、オリンピックで活躍した、水陸両陣営の選手を招待して、スポーツ大講演会を、上筒井の高商の大講堂で開催すると宣言されたのである。

昭和3年のアムステルダムのオリンピックでは、日本のスポーツ界が始めて、金メダルを獲得したオリンピックであった。即ち、陸上では、織田幹雄が三段跳で、水泳では鶴田義行が200m平泳で金メダルを獲得した。陸上女子800mでは、人見絹枝が銀メダルを獲得した。水泳では800mリレーに、米山弘、新井信男、佐田徳平、高石勝男の4名が銀メダルを獲得した。又高石は100mフリーに3位となり、銅メダルを取った。茨木中学の入江稔夫は、惜しくも4位となってメダリストにはならなかったが、これも立派なものであった。

これらの選手を神戸高商へ呼ぶ、というのである。

当時は今と違って、プロの「呼び屋」もないし、こうした企画は、朝日、毎日といった大新聞社のみが出来ると考えられていたので、地方の一高商の運動部の企画としては、全く意表を衝くものであった。我々部員は新部長の大胆、且つ斬新な企画に「アット、驚いた」のである。部長の命令一下、我々部員は走ったのである。招待状発送、立て看板、ピラ撒き、全く多忙を極めた。

そうこうしているうちに、高石がどうしても来れないとの情報が、はいった。その時に、先生が、「高石君が来てくれないんだよ」と言って嘆かれた悲痛な声は、今でも私の耳の底に残っている。

眼玉商品（失礼の段お許しあれ）の1つ高石の不参加があったとはいえ、ゴールドメダリストの、織田、鶴田。シルバーの、人見、水泳800リレーのメンバーの一人、新井、4位の入江に代って、水泳オリンピックチームのコーチを2回に亘って勤められた茨木中学の杉本伝教諭が、神戸まで来て下さって、講演会は大成功であった。

入江の不参加は、彼がまだ中学生であるところから、杉本先生が、神戸高商に失礼になるというので、御自身が、来て下さったとのことであった。入江の不参加は残念ではあったが、先生の御参加は錦上華をそえるものであった。杉本先生は大正8年茨木中学の校庭に当時としては珍しい50mプールを建設せられ、大正10年には茨木中学は日本最強の水泳チームとなった。入谷、石田、高石、上田、等々、世界オリンピック、極東大会に多くの代表選手を送られた先生は、パリ、アムステルダム両オリンピックの水泳チームのコーチとして、その令名は全国に鳴り響いていたのである。

講演者の水泳関係者を個人的に知っているというので私は、講演者の接待係を命ぜられた。お蔭

で私は講演者から講演以外の話を色々聞くことが出来たのは望外の幸せであった。

中でも今憶えているのは人見絹枝との談話であった。彼女は、当時としては全く女子離れをしている程の強い選手であって、身体つきも、筋肉質で、男ではないかとの噂があった。この噂は後に関係者から完全に否定されたのであるが、当時は確定的ではなかった。私は彼女と話をしたが、その中で、彼女が、自分の競技者としての将来、当時彼女は婦人としては珍しい新聞記者であったが、その職場での悩み等を女らしい繊細な感覚で語るのを聞いていて私は彼女はまさしく女性であることを感得した。

この時、杉本先生にも色々とお話しを伺い、教えられるところが多かった。この翌4年6月、対大阪商大水泳大会が、大会10周年に当るので、杉本先生にも当日御臨席願ったが、その時私が200m平泳で出した、3分3秒8という記録はシーズンが済んでみるとやっと日本のベストテンの最下位に位いする程度の記録でしかなかったが、6月としては5位以内に、はいる程の好記録であったので、「日本水連に正式の記録報告を出しなさい」とのアドバイスを特に頂戴したのはこの講演会の副産物であったと思われる。

こうして神高商、陸上、水泳両部主催のスポーツ講演会は大成功裡に幕を閉じた。この時の北村先生の英姿は、大学教授と言うよりも、全く、青年実業家の面影があった。

くだって、昭和6年秋、私は校内陸上競技会に参加した。この会は大学の陸上部のレギュラーは参加せず、ラグビー、サッカー、排球、野球等の各部選手が、余技を競う会である。余技といっても、排球部選手などは中学時代陸上の選手だった者も多く居た。水泳部では私一人で、結局3位までには入らず、800m、三段跳、高跳等何れも4位であった。

然し競技終了後、部長だった北村先生はワザワザ私のところまできて、「小山君は水泳だけではなく、陸上競技もナカナカやるね」と声をかけて下さった。肉親の兄を持ったことのない私は、その時先生を失礼ながら、「兄貴」と呼びたいとの衝動に馳られた。

次に学科のことになるが、私は大学では高商時代に習ったことのある先生には選択科目の場合、凡て之をとらなかつた。行政法、刑法、親族相続法、高等数学等々、京大からの講師の科目をとつたので北村先生の科目を一つも取らなかつた。然し私は高商でドイツ語、大学でフランス語をかちっていて、イタリア語をやってみたくなり、昭和6年春草野君などと語らってイタリア語研究会を作り、北村先生に教えて貰うこととした。先生は滞欧期間が長く、イタリアにも長期留学され、イタリア語もよくお出来になった。この会は試験もなく、先生の滞欧時代、特にイタリアのお話しなどを伺う楽しい会であった。この時使ったテキストはクオーレ（愛の学校）というものであった。肝腎のイタリア語は忘れてしまったが、イタリアオペラの歌詞など時々わかることもあるのは先生のお蔭である。

私は先生にとっては学問を余り教えたことのない悪童であったかも知れない。

懐しい先生は既に亡い、心から御冥福をお祈りする次第である。

(文中敬称略)

水 辺 雑 感

昭27学 石 井 義 章

(その1) 横書「凌泳」について

今年の「凌泳」を手にして「オヤ!!」と思われた方が多かったと思います。そうです、昨年まで縦書であったものが、今年は横書になりました。従って表紙も右から左に変わりました。こうなった経緯を報告して皆様の御了解を得たいと存じます。

昨年11月頃だったと思います。主務の谷水君より「凌泳」編集につき、名簿欄を横書にしたいのだがと相談を受けました。名簿は番地とか電話番号とか数字が多いから横書の方が見やすいし、問題なからうと同意しました。更に話している内に、記録とか戦績、又会計報告等は従来も横書にして来たが、縦書と横書が混在するのはどうも読みづらい。この際全部横書にしてはどうでしょうかと云う事になりました。しかしそれは創刊以来縦書が続いて来た「凌泳」編集の根本的な変更になるから、私の一存では決めかねる、幸い間もなく新年の初泳ぎがある事だから、その時集まったOBに意見を聞いてみよう。それからでも遅くはなからうと一時保留にしました。

さて1月10日、例によって、「かるもプール」での初泳ぎの後、別室でミーティングを持ち、その席で出席のOBにこの事の意見を聞いてみた所、「新聞・雑誌はほとんど縦書だ。やはり一般の文章は縦書の方が読みやすい。」「この頃は公文書も横書が原則になって来た。」「人間の目は横に切れているのだから横に動かして行くのが自然だ」「いや縦書の方が文章の先が予測出来て読みやすいのだ」等と議論百出、総じて若いOBになる程横書に対する抵抗は少ないようです。それなら、OBの寄稿その他文章は縦書にして右から頁を進め、戦績・会計・名簿等は横書にして左から頁を進めたらと云う折衷案も出ましたが、最後に現役部員より、財政困窮の折柄、横書の方が少しでも行間を詰める事が出来、頁数の節減にもなるので出来れば横書で統一したいとの希望があり、それなら、今年はそうしてみようとする事で、横書の「凌泳」が出来上った次第です。

毎号の凌泳を綴っておられる方には表紙が逆になって、具合が悪いと思いますが、悪しからず御了承下さい。尚この事で御意見、御希望等ありましたら、御遠慮なくお聞かせ下さい。今後の編集の参考にさせて頂き度いと存じます。

(57. 1. 22 記)

(その2) 旧三商大戦50回記念大会について

今年はいよいよ、旧三商大戦が50回目を迎え、当神戸大学が当番校となり六甲台プールに於て開催される事になりました。つきましては、これを記念大会として盛大に開催すべく数年前より準備を進め、機会ある毎にP・Rして参りました。

さて、その行事の一つとして記念プログラムを作り過去49回の全競技の1, 2, 3位の氏名とタイムを一覧表にして掲載したいとその準備を進めております。

所が、これが予想外の難物です。初期の頃の記録が無いのは仕方ないとしても、比較的近年の物でも、見つからぬもの、一部抜けているもの様々です。昔のスクラップブックをひっくりかえしたり、現役部員に頼んで部室の資料箱を探してもらったり。又一橋・市大にも声をかけて協力を依頼したり八方手を尽しております。

何せ、本大会は過去50回の間、一度も記念大会の行事を行はず、従って記録の整備もされてない様です。大阪市大戦が20回、40回、50回を夫々記念大会として、その都度記録の整理がされているのに比べ、不思議な気がします。

従って今回の50回が初めての記念大会となり、50年分一度に整理しようとするから大変な訳です。「今更そんな事したって………」と云う声を耳にせぬでもありませんが、今回のチャンスを見送ったらもう永久にその機会はなくなってしまおうと思うのです。

たとへ、完全な物でなくても今回一応まとめておけば、その内追々お知らせを得て空白も埋まって行く事と思います。

右の次第にて、今の所、競泳・水球すべての記録が判明して居りますのは、昭和14・27・28・29・30・32・36・37・38・39・43・52・54・55 各年度の14回のみです。皆様の中でこれ以外の年の記録お持の方あれば、お手数ですが小生迄おしらせ願います。完全なものでなくても結構です。多くの方から頂ければ、それらを寄せ集めている内に完全なものになって行くと思います。競技は7月と思いますので急を要します。お心当りの方は早速お調べ頂きます様、重ねてお願い申し上げます。

尚、現役学生諸君も、この大会を盛り上げようと大変張切っており、OB対抗レースその他多彩な企画を立てている様です。何れ改めて案内が行く事と思いますが、平素あまりブルサイドに顔を見せられないOBも、今年こそはお誘い合せの上、多数御来援頂きます様、お願い申し上げます。

(57・1・30記)

(その3) ワンダフル・ギャル

一寸と今様にシャレてみたが、これから書こうとするのは、他にもない、吾が水泳部の女子部員の事である。レディと云うべきかもしれないが、この語感からは何となく着飾った令嬢が連想され、かのたくましき女河童には似合はない。と云って、ウーマンパワーでは古くさい、かくてワンダフル、ギャルとなった訳である。

さて、前置はこれ位にして、近年ブルサイドに顔を見せてくれるOBが少なくなったので、水泳部の変貌の一端を紹介してみよう。

数年前、女子が入部して来たと聞かされて、時の流れとは云へ、裸の世界の水泳部で無事やって行けるものかと内心、心配したが、男女共学で慣らされた今の若者はさして気にもとめぬらしく、アックラカンとしたもの、吾が頭の古さを再認識させられた次第。

所で、この女子部員、初期はコンパ要員位に思っていたが、最近は男子顔まけのすごい選手が出て来かけた。例へば坂東美枝さん。昨年7月神大プールで行はれた第62回対大阪市大定期戦の

200mバタフライにオープンで出場。1着は、浦野君(神大)に譲ったものの他の選手を押えて2着でゴールインしてしまった。タイムも2分44秒7と堂々たるもの。このタイムは歴代神大10傑表に入れても上位にランクされるものである。

こうなると今後女子選手の取扱について考へなければならない。インカレその他男女別のプログラムの組まれている公式戦は良いとして、前述の市大戦又、旧三商大戦等に於て、女子を正選手として出場させて良いものかどうか。昨年迄は正選手は男子に限るとして女子は出たとしてもオープンと云う事で得点にはならなかった。

しかし、この取扱も何となくスッキリしない。女子と雖もレッキとした神大水泳部員である。競技会に実力のある者が選ばれるとすれば女子が正選手となっても少しもおかしくはない。2、3年前の愛泳総会でこの事が話題になった事があった。

「女子を正選手として出場さす事は相手校に対して失礼になるのではないか」

「いや、むしろそう云う考へ方こそ、女性に対して失礼なのではないか」

「正選手よりも強い選手をオープンで出場させるのは、吾が方にはまだ余力がある事を誇示する様で相手をナメた様にとられないか。相手校との実力差が如何に歴然としていたとしても、その年のベストメンバーを揃えて対戦するのがフェアではないか」

等々論議されたが、その時は、時代は変わって行くのだから、過去の例に拘らず、将来を展望して関係各校間でよく相談しルールを決めて行ったらよかろう。OBのとやかく云う筋のものではない。と云う事になったと思う。

とにかく、吾々の現役当時には思いも及ばなかった事である。第一あの先見の明ある古林先生が作詞された水泳部歌の一節(昭和36年頃の作)

「茅渚の浦曲を見下して しぶきをあげる健男子」

とある程だから

老若男女OB諸賢如何思はれますか？

(57・2・3記)

初泳ぎ雑感

昭30 T 橋 本 力

1月10日、神戸からもプールで行われた初泳ぎの会に3年ぶりに出席する。プールに顔を出したときは、すでに現役陣(総勢35名ぐらいか。)の気迫にあふれた練習が始まっており、貧弱な泳ぎを披露するのは余りにも恥しくて水に飛び込む勇気がない。

現役の3年生はちょうど全国共通テストの1期生にあたるわけだが、きびしい入試をくぐり抜けてきたこの若者たちの顔には、そんな受験やつれなど微塵も見られない。安易な道を選び、少しでも楽をして格好よく生きて行こうとする最近の若者たちの風潮にさからって、苦しく単調なスポーツ・水泳の道を選んだ現役諸君をみていると、ほんとうに可愛いなと思う。練習をみているとうれしくなって、年がいてもなく水に飛び込み50mインターバル練習に2、3本挑戦してみる。

泳いだ後で、会議室を借りてミーティングを開く。金主将の頼もしい年頭の言葉と今年の練習計画の内容を聞いていると、のんびりやっていたわれわれの時代と比べて、これは大へんやなと驚く。

石井先輩は老いて？ますます盛ん、水泳に、スキーに、ヨットにと若者顔負けの活躍ぶり。また野田氏（昭36）は年令別水泳大会で優勝（参加人員はいざ知らず）されたとか。今年から50才になるのを機会に、私もマスターズ水泳に挑戦して小山会長の後につづきたいものと思う。何はともあれ、まずは毎年初泳ぎには参加すること、これだけはと心に誓い、次の会場、石井先輩のヨットへと向かった。

OB参加者、石井義章（昭27）浜本力（昭30）前田修（昭34）野田浩志（昭36）井上与志男（昭47）酒井正人（昭53）山本隆（昭57）

凌泳会全国大会前夜祭

昭32 J 松田司朗

昨年5月24日全国大会の前日、兼松江商の六甲山荘で有志十数名集って夜を徹して飲み且つ、語り且つ踊り明かしました。勿論ウイスキー・ビールはサントリー一機重役候補の富岡道雄氏寄贈を心ゆく迄、銭の心配も要らず一同飲まして頂きました。夜も更け全員素裸のカップ踊りは、小原祥男氏（兼松江商・非鉄金属部長）の独演会の観があり、奥様に見て頂く訳には決していかない代物でありました。天心爛漫の昔日の美少年にかえり、懐旧談はつきる事なく、カップの群舞も終る事なき観を呈していました。

当日出席の皆様、大西繁（学20）石井義章・中井三郎（学20）小原祥男（新2）田淵五郎（新3）富岡道雄（新4）山口仁郎・松田司朗（新5）北村敏（新7）岡田重義・高岡保宏（新10）米田啓祐・平岡昭朗（新11）丸山昂也（新13）平石康・後藤信人（B26）平野輝雄（P26）以上の諸兄でした。尚会場等小原祥男氏に大変お世話になりました。紙上を借りて御礼申し上げます。

第二回凌泳全国大会

昭47 J 井上与志男

『未来都市神戸』そんな形容詞がびったりと当てはまる現在の“翔んでいる”神戸。我々神戸大学卒業生にとって、実に喜ばしくもあり又、懐かしくもある神戸で、夢のポートピア81が連日新聞やテレビ等で話題を提供しているさ中、水泳部のOB会である凌泳会の全国大会が、5月24日盛大に行われました。水に関りのある我等に天候まで呼応してか雨の降りしきる中を全国各地から明治、大正、昭和の各世代の先輩達が70余名も神戸に駆けつけて下さいました。

午後1時から始まった第一部の凌泳会総会では東京から小山賢之助会長を初め、山田常雄、山口

宗樹両副会長等諸先輩方、そして、水泳部長の山田幸男先生等、続々と六甲台の学生食堂にお集まり頂き、現役学生諸君と共に、定例の総会行事を滞りなく無事終了しました。(総会の内容については後記。) 会場には石井義章幹事長が保存されておられる、昭和10年代のスクラップブックや神戸高商時代の正しく“年代もの”の部旗、又昨年水泳部創設以来初の快挙と新聞にも大きく報じられた兵庫インカレ優勝カップをはじめ数々の優勝カップ等が陳列され、競泳会会員の目を楽しませてくれました。又、姫路支部幹事の山口仁郎氏発案の競泳会創立60周年記念ふんどの特別販売も、赤ふんの中にカップのマークを白抜きにしたデザインが好評で飛ぶような売れ行きでした。

久し振りに会う先輩、同輩、後輩との歓談が続く中、第二部としての懇親会と場所を三宮の新聞会館内の金龍閣に移し、サントリーから御寄附頂いた生樽のビールを傾けながらの会場はもうこの上なく盛り上りました。各年代毎の八つのテーブルでは各々が肩をたたき合いはるか昔の思い出話に花を咲かせる熟年時代の先輩達、今が働きざかりの意気軒高な中年世代の先輩達、そして卒業して間もなく、社会の荒波の中を前途洋々とこぎ出している若年世代の同輩(?) 後輩達等の実に楽しそうな顔、顔、顔があふれる中で、小山会長の挨拶をはじめ、今大会の発起人であり同時に今年から副会長に就任された吉野栄氏、宮本伯夫氏、大西真博氏、平井洋氏、小原祥男氏、松田司郎氏、柳本正雄氏、得丸哲士氏、上田剛弘氏等、各世代を代表して話をして頂きました。又その途中ではいろんな先輩の飛び入りもあり、中でも赤ふんどの考案者 山口仁郎氏の『ふんどの多目的利用講座』には全員が爆笑の渦となり、時間の経つのを忘れてしまうほどに皆が楽しみ、語り合った実に有意義な一時でありました。

話はずきないという雰囲気の中ではありましたが、遠方に帰られる先輩もいらっしゃるので、山川初雄氏のリードで全員『商神』を合唱し、最後に吉野副会長のかけ声による、万歳三唱で、第二回競泳全国大会は、全員の拍手の中、幕を閉じました。

総会の主な内容は次の通りです。

1. 55年度経過報告及び56年度行事予定

1. 55年度決算及び56年度予算

1. 役員改選

本部幹事

- ・副会長 山田常雄氏(学1)が引退され、かわって 吉野栄氏(学9)が就任されました。
- ・監事 これまで空席でしたが伊藤英二氏(学7)、平井洋氏(学11)の両氏が新たに就任されました。
- ・幹事 前任の萩原武氏(新10)が北九州へ、玉置明氏(新18)が札幌へそれぞれ転動されましたので、かわって私、井上与志男(新18)と後藤信人君(新26)が就任する事になりました。

その他の役員の方々は今年も御留任頂きます。

1. 退会規定について

退会規定を定めてはどうかとの提案があり、これに対して、小山会長より“去る者は追わず、来る者は拒まず” という事であえて退会規定なるものは必要なし という事で全員の了承を得ました。

1. 水泳部歴史執筆について

昨年度凌泳会総会に続いて、そろそろリレー的に、歴史執筆に取りかかっては との提案がありました。

懇親ゴルフ会

昭47J 井上 与志男

第2回凌泳全国大会が大盛況の中で幕を閉じた翌日の5月25日(月)ゴルフ好きの有志11名が集まり、ゴルフコンペが行われました。場所は関西の名門、花屋敷ゴルフクラブ(よかわコース)前日激しく降った雨もすっかりあがり、曇りがちではありましたが時々薄日が射し、5月のさわやかな風が薫るというまずは絶好のゴルフ日和ではありました。

組み合わせは、第1組 小山賢之助会長(学1) 大西繁(学20) 石井義章(学22) 岡村司(法7) 第2組 中井三郎(学22) 小原祥男(営2) 溝口汪(営3) 松田司郎(法5) 第3組 富岡道雄(営4) 柴川泰介(経7) 井上与志男(法18)となっており、ハンディキャップについては、紳士のスポーツでありますので、自己申告制という事になりました。小生は最近のスコアが110前後なので30が適当かと思いましたが、幹事の中井さんからおだてられまして、結局25というところに落ち着いたのです。思えばその時にハンディ30をもっと主張しておけば、今こうして汗を流しながら原稿用紙に向かう事はなかったのです。何故かと申しますと、スタートの前に、石井さんより「今日のコンペの報告記事は、ブービーになった人をお願いします」と宣言されていたのです。ブービーというものはなろうと思ってもなれるものでなく、またなりたくないと思っても何故かなってしまう不思議なもので、実を言いますと、小生はこの一年間で6回ほど参加したコンペの中で、なんと4回もブービーになっているのです(オハズカシイ……)。話が横道にそれてしまいましたが、とにかく“自己申告”のハンディを持って第一組よりアウトから皆元気にスタートしました。

アウトの5ホール目まで来た時、第一組の岡村さんが、4ホール終わった時点で3アンダーだという話が飛び込んで来ました。世の中には上手な人がいるものだなどと感心していると、続いて横から「あのヤロー、ハンディたしか30いうとったのに…ブツブツ……」(紳士のスポーツでもこんな言葉ぐらひは許されるのです)。小生も少し複雑な感情を持ちながら、とにかくアウト9ホールを終了、食堂へ入ってまたまたびっくり。なんと岡村さんのアウトのスコアは38だとの事。頭の中で「自己申告ハンディ30」と「ハーフ38」の二つの数字が錯綜し、何とも言えない気持ちでい

ると、横で一緒にまわった富岡さんが『あいつは学生時代から、言行不一致、未だになおっとらんなあ』。ところが当の御本人は悠然としたもので『今日はロングバットがよう入りましてなあ……』等とのたまいながら、昼食をムシャムシャ。“いやいや大したものだわい”となかば感心、なかばあきれかえっていたのですが、午後のハーフでは少し調整(?)をされたのか50でまわって来られ、トータル88、ハンディキャップ25(いつのまにかこうなっていたのです。)ネット63でダントツの優勝、2位には柴川さんがトータル90のネット68で入り、小原さんが同グロスの90でネット74の3位、小山会長はネット84で8位とられました。

天候に恵まれ、また良きパートナーにも恵まれ、そして話題にも事欠かない、誠に楽しくそして何かと勉強にもなりました。本日の夜泳懇親ゴルフ会は、和気アアイの中に無事終了し、次の再会を約束して、美しい花屋敷ゴルフクラブを後に帰途についたのです。

※ この原稿は56年8月1日発行の『凌霜』に投稿掲載されたものです。

凌雪会見聞録

昭49 A 佐 敷 定 雄

凌雪会が結成されて7年になるそう。小生、神戸に住んでおりながら、一度も参加したことがなく、今回初めて、親睦と若干の好奇心をもって、参加したのでございます。

凌雪会では、酒落たワッペンを作っており、その立派なワッペンにつられ、今回の夜泳に寄稿すれば、原稿料としても無料で進呈するとの石井さん(学22)、山口さん(新5)の意地の悪い提案に、端なくも初参加の感想を書くことになったのでございます。

2月20日(土) A・M5:30起床。6:10神鍋高原に向けて出発。神戸地下鉄・山陽本線・播但線・山陰線と乗り継ぎ、A M 11:00旅館に到着。その頃、霧雨が降り始めたのでございます。前田寿先輩(学11)お知り合いの屋鋪真理子嬢、山口先輩(新5)、山口順子嬢、西郷氏(山口さんのヨット仲間)、平岡先輩(新11)がすでにグレンデに出掛けて、スキーを楽しんでおられました。佐敷プロは、早い起床と、車中での書物購読のゆえ眠気をもよおし、スキー場での安全を祈願し、軽い睡眠をとったのでございます。

その後グレンデに出掛け、山口・平岡先輩と一緒に、バラレルターンからウェーデルンと高度なテクニックを披露しあったので、ございます。(ほんとかいな?)平石(新26)、平野(新26)君とも合流し、宿に帰りますと、高岡先輩(新10)、ご子息・米田先輩(新10)、丸山先輩(新13)、ご子息が、すでに到着しておりました。

小生、本日は早い起床の為、朝食早く、又運動の後ゆえ、はしたなくも、一刻も早く、命の水(ビール?) etc 口に含みたく、静かに総会及び晩餐会の開宴を待っていたのでございます。ビール・スキ焼・ブランデー・コーヒー etc の味は、格別に結構なものでございました。

石井先輩(学22)、知人の林氏、和田氏の3人がP・M8:00到着し、今回の参加メンバー全員集合。さっそく総会(そんなにたいそうなものやおまへん。)が始まり、山口氏が満場一致で、凌雪会会長に選出されたのでございます。

凌雪会に参加して感じましたことは、スキーが本来ではなく、集まる機会の少ない凌泳会員が、過去の懐かしい思い出や、各年代の出来事などを語りあい、出席者相互の親睦と凌泳ファミリーとしての自覚が、主たる目的のようでございます。風邪にもかかわらず、体温計持参で食前、食後に検温しながら参加の石井さん。膝のネンザにもかかわらず、スキー道具は持たないで夕食会にのみ参加の米田さん。スキーの合間に、グレンデ横の喫茶店でパイプをくゆらせながら優雅にスキー鑑賞の前田さん。スキー学校に入校し40才の手習いよろしく、初めてスキーをはき、技術の向上に励む丸山さん。陽気な性格のゆえ、スキー場の係員と、すぐに知り合いになり、顔パスでリフトに乗り、自分のリフト乗車券を売りつける憎めない山口さん。

2月の一日を楽しく過ごす為に、ぜひとも一度参加下さいませよう御案内いたします。

愛すべき凌泳ファミリーの皆様の益々の発展と堅い結束を願ひシーハイル!

関西インカレ1部の重み

昭53A 酒井正人

関西インカレ1部昇格おめでとう!

とは言うものの、例年のことではあるが、1部と2部を行ったり来たりである。それほど1部残留は難しいのだ。

しかし、考えれば隔年ではあるが、1部で泳ぐというのは大したものだと思う。私が4年の時に何年かぶりで久しぶりに1部に昇格してからは毎年そのくり返しである。

関西インカレを観戦して思うことだが、1部で泳ぐ選手は、やはりそれらしい泳ぎをしていて、2部や3部の選手とは、タイムはもちろんのこと、泳ぎのスケールがちがう。一回りも二回りも大きな泳ぎをしている。

ここで、私の体験からひとつアドバイスすると、関西インカレのような大きな試合では、ぜひ、1部で泳ぐトップスイマーのフォームを十分見てそのイメージを頭に焼きつけてほしいのだ。そして、できれば、そのイメージが消えないうちにフォーミングをして泳法研究を実施していただきたい。

私の頃とはちがいが、今のクラブを見ていると選手層の厚さを感じる、特に2、3年生には期待する所が大きい。その若い戦力の善戦を祈って今年こそ、1部残留を信じている。

会員からのお便り

—総会案内状返信より—

- 吹田 大輔 (兵庫水連会長・関学OB) 折角の御籠招頂きましたが如何様にも予定がつかず失礼御容赦下さい。皆様によろしく。
- 溝口 卓郎 (大13高) 祈盛会
- 中村 信三 (大13高) 素気ない返事(欠席)で申し訳ありません。
- 川北 正喜 (大13高) 大変な御世話に相なり多謝。他の行事のため失礼いたします。
- 木村 芳雄 (大15高) ゴルフの方は参加者が余り少なければ止めます。大勢ほど面白いと思いますから。
- 草野 嘉一 (昭7高) 5/15 ~ 6/3 スペインに行くことになりましたので誠に申し訳ありませんが貴会に出席できなくなりました。何しろ5月と言うと日本でもEUROPEでもBEST SEASONなので行事が重なります。
- 山口 宗樹 (昭16学) 花屋敷ゴルフ場の案内もお願いします。
- 前田 寿 (昭16学) 当日は東京滞在中ですが13時か17時のいずれかに出席するつもりです。万一出られなくなったら電話します。
- 堀部喜代次 (昭16学) 誠に欠席の段申訳なく一昨年末心筋梗塞の為病床にあり御勘忍の程を。
- 木村京一郎 (昭17学) 残念ですが出席できそうにもありません。皆様によろしく。
- 山川 初雄 (昭18学) 返辞を出すのをつい失念して申しわけありません。
- 湯山 正之 (昭19学) 出席を楽しみにしていましたが社のOB大会が当日割り込んできました。欠席するわけにもいきませんので、不悪。
- 三宅 林 (昭22学) 当日淡路カントリーの開場記念日で、これを兼ねて部長以上のコンペをやることになっていきますので誠に申し訳ありません………小生幹事長の為。
- 今枝 一 (昭28B) 残念乍ら欠席させて頂きます。諸先輩によろしくお伝え下さい。
- 堂本 直正 (昭30T) お世話になります。厚くお礼申し上げます。広島にての単身住いにて時には大阪宅へも帰りおりますが当日時間とれるか未だ判りませず申し訳ありません。
- 松田 司郎 (昭32J) 宜しくお願い致します。
- 岡見 晴児 (昭33J) 海外出張等仕事に支障のない限り出席致します。
- 柴川 泰介 (昭34E) 年中出張が続きますので間際にならないと予定が立ちません。悪しからず。
- 奥野 吉矩 (昭35E) 誠に残念ながら都合つかず欠席します。
- 村岡 英樹 (昭35B) 色々と御苦労様です。当日を楽しみにしております。
- 酒井 孝栄 (昭36E) 5/23 ~ 24 会社行事で静岡の方へ出張、残念ながら出席出来ません。御参加の皆様方によろしくお伝え下さい。

- 武政 英幸(昭39 B) 亡父3回忌法要及び会社の展示会とぶつかり残念です。
- 鈴木 正弥(昭39 E) 幹事の御苦勞ありがたく思います。
- 前田 和彦(昭40 J) 山田先生をはじめ御出席の皆様によろしく。
- 小越 信昭(昭43 T) 小生この4/18に米国の子会社へ出向いたします。前回の御案内の時には出発予定がハッキリしておらず出席するとの返事をしましたが悪しからずご諒承下さい。
- 阿部 洋三(昭42 T) 残念ながら出席できません。いまだにBESTを追って週4回程度泳いでいます。最近の記録では200M個 2-55-5程度です。
- 前田 信雄(昭44 E) おたよりを汚なくして申しわけございませんでした。
- 玉置 明(昭45 E) 55年11月末に札幌に赴任になり元気にやっております。本会にも出席致し度いのですがうまくスケジュールが組めるか現在の処判りません。どうも済みません。
- 小林 育夫(昭46 T) 当日に会社内のゴルフコンペがあり行けなくなりました。皆様の御敬談お祈り致します。
- 藤森 一男(昭51 T) 4/1付で県保健環境部環境衛生課へ転勤となりました。先の予定がたちませんので申しわけありませんが欠席させていただきます。
- 松山 玄彦(昭51 E) 出席したいのですが当日友人の結婚式があるため欠席致します。
- 平石 康(昭53 P) 凌雪会の原稿年度末の忙しい時で(メモも旅館に忘れました)時間があまりとれずひどいものになってしまいました。お許し下さい。それから写真お送り下さいましてどうも有難うございました。
- 平野 輝雄(昭53 P) たくさんの方が集まるとのこと楽しみにしています。
- 後藤 信人(昭54 B) 100名近い出席が予定されているのは喜ばしいですが、教官食堂に入りきれぬでしょうか?
- 杉山 和弘(昭55 A) 4/19(日)に結婚式を挙げました。新住所は下記の通りです。御返辞遅くなって申訳ありません。喜んで出席させていただきます。

— 月 見 の 宴 案内状返信より —

- 溝口 卓郎(大13高) 好績を喜びます。関西I.O.、定着(1部)を望みます。老生元気と言いつつ足腰の衰えを感じ無念に思っています。
- 三井栄三郎(大14高) 今シーズンは多くの優勝を収められ御喜び申し上げます。切角御招待を受けましたが出席出来ず残念です。御盛會を祈ります。
- 白井 儀三(昭3高) 諸氏の御健闘を祈ります。
- 三吉 吉郎(昭6高) 今年こそ出席して見たいと思いますが仲々出来ません。体調は頗る元気です。小山、山田、学兄に宜しく。
- 小山賢之助(昭7学) 本シーズンの水泳部の好成績を喜んでます。市大戦水球、三商大の

仇きをうちましたね関西インカレ一部昇格おめでとー 今後は二部に落ちない様にして下さい。

- 草野 嘉一(昭7学) 同期の小山賢之助君は相変わらずよく泳いでいるようですが小生はほとんど泳ぐ機会がなくなりました。しかしお蔭様で元気にしております。東京凌泳春秋会と称して昭和6年~11年卒の連中が春秋2回、集まって昔話しに花を咲かせています。
- 山田 常雄(昭7学) 一度も応援に行けなくて失礼しましたが今年の成績は中々優秀でしたね。益々御活躍を祈ります。
- 熊野 利夫(昭8学) 五月の全国大会に出席して卒業後初めて大学の現況を見て感慨深きものがあつた。亦なつかしき奴共に会って嬉しかった。
- 宮本 伯夫(昭9学) 元気で毎日会社に出ています。若し人達の仕事の邪魔にならぬ様にして新聞雑誌を読み、の日は多く、楽しく、余生を送っています。
先般、老妻を連れてカナディアンロッキーを見て来ました。素晴らしい景観でした。水泳部の御発展を祈っています。
- 本間孝之助(昭10学) 古稀を迎えました。御蔭様でどうやら元気にやっています。遠方の事とて御無沙汰ばかりしています。皆々様によりしく御伝え下さい。
- 小池三郎(昭11学) お便りありがとうございます。本年もなかなかの好成績おめでとー存じます。往年の覇者関学を破つたとは驚きです。小生古稀を迎えようやく自由の身となりました。これからやりたいことがありますので健康に留意しながら毎日を過したいと思っております。ご健闘を祈ります。
- 野村 弘(昭11学) 優秀な成績でシーズンを終えられたことを御喜び申し上げます。小生は好きなゴルフもドクターストップになりスポーツは専らテレビで楽しんでいます。
- 伊藤 英二(昭13学) 関西インカレ1部昇格誠に立派です。心から喜び且つ御祝い申し上げます。5月の総会に集つたOBが大いに拍手していることと思います。9/15は七慶会(東京)があります。残念ながら欠席します。
- 岡野 巖(昭13学) すでに職も退き悠々自適?の生活をしています。近くに居ながら御無沙汰しています。一度プールに行きたいと思っています。他に所用あり出席出来ませんが皆さんによりしく。
- 太田正元(昭13学) 最近の優秀なる成績を拝見、往時を思い出して懐しさに堪えません。東京での凌泳会並びに東京の五月会には何度も出席して小山先輩、山口君共に懐旧を語つて居ります。匆々
- 吉野 栄(昭15学) 御活躍御目出度う 月見の宴で諸君にお目にかかれるのを楽しみにしています。
- 大西 真博(昭15学) 前略今夏の凌泳会総会ではお世話になり有難う御座いました。若き諸兄に会つた為かその熱気に沸いた為か20年振りに近くの市営プールに1週間程続けて水泳を楽しみました。300m丈泳ぎ上っています。泳ぎは楽しきものです。匆々

胸厚き姿を見れば頼もしく 若きらの顔嬉し過ぎし日思ふ

- 中村 市治 (昭15学) ①9/15 東京出張のため残念ながら月見の宴に欠席します。諸兄に
よろしく。②在学諸氏の御健闘を祈ります。
- 前田 寿 (昭16学) 凌泳全国大会では懐しい方々にお会い出来感激でした。幹事や世話役
の皆様は本当に御苦勞のことでした。有難く御礼申し上げます。
- 平井 洋 (昭16学) 眼底出血を起こし運動が禁じられております。でも今年の夏は白浜で
海に浸ってみました。
- 岡本 忠男 (昭17学) 9/3, 4 帰神していましたが残念ながらプールに行く時間がありま
せませんでした。
- 木村京一郎 (昭17学) 9/13まで神戸にいる予定 15日では残念ですが出席できません。
一度集会に出たいと思いますが機会なく果たせません。皆様によろしく。こどもの頃絶対いやな
職業でなるまいと思った教師生活もはや30年になろうとしています。水泳部の生活で培かわれ
た健康だけが唯一の現在の資産です。
- 山川 初雄 (昭18学) 前略2年続きの冷夏予想に反し今夏は平年以上の暑い夏だったので人
並みに水恋しの想いはひとしおだった。小生最近水との縁さっぱりだが陸に上って下手なテニス
で健康管理を心掛けている現況である。匆々
- 上田 宇一 (昭18学) 残暑厳しくございます。誠に申訳ございませんが公務多忙の為欠席致
しますので悪しからず宜しく願い申し上げます。
- 荻野 茂希 (昭18学) 御出席の皆様によろしく。
- 富中 暁 (昭18学) 今シーズンの立派な成績御慶の至りです。「月見の宴」には出席したいので
すが一寸都合つきかねますので一応欠席させて頂きます。御出席の皆様何とぞよろしく御慶声下さい。
- 三宅 林 (昭22 B) 当日社用にて出席できません。諸先輩の方々にもよろしく、水泳はあ
らゆる機会に少しでも泳ぐように心掛けています。盛会を祈ります。
- 今井 政一 (昭24 専) シーズン中の立派な成績御報告頂き、慶賛に存じています。相変らず
多忙な毎日を送りつつあり応援にも中々出掛けるのが出来ず失礼致しております。皆様に益々宜
敷くお伝え下さい。
- 鈴木 富夫 (昭25学) ポートピア総会には突然の海外出張で参加出来ず残念でした。皆様に
よろしくお伝え下さい。
- 佐脇 鷹平 (昭25学) 東京に来て再びチョンガーあちこちひとりで流れ歩いています。仲々
うまく出席出来ません。あしからず。皆様によろしく。
- 中井 三郎 (昭27学) 最近スポーツセンターに入会週2~3回体操と水泳に励みもっぱら体
力づくりをしております。何んと云っても一年中泳げるので老化を防ぐのには最適であると思っ
ております。
- 石井 義章 (昭27学) 五月の凌泳全国大会以来六月には予科のクラス会に八月にはポートビ
アで寮歌祭と忙しい半年でした。今日(8月28日)同期の山本が尋ねてくれました。相変らず
張切って元気そうでした。まだ数年マニラで頑張るそうです。

- 今枝 一 (昭28 B) 目下、東京に外資系の海運ブローカー会社を設立する事になり、その準備に忙殺されています。9月末頃に登記も終る予定につき、確定次第勤務先の明細等を連絡させていただきます。暫く御無沙汰していますが、諸先輩によりしくお伝へ下さい。
- 煎塚 昌宏 (昭28 E) 住宅の仕事で目下多忙で会の方は失礼しっぱなしです。その代り会の方の住宅なら特別サービスさせていただきますので兵庫県下の住宅土地について御相談下さい。よろしく (御紹介も)
- 小原 祥男 (昭29 B) 富岡キャップ他4回生の諸君最終年度ご苦勞様でした。石井先輩他によりしくお伝え下さい。
- 前田 弘義 (昭32 E) いつもご無沙汰ばかりしています。最近体重が増えて困っています。少しは水にうきやすくなったのではないかと思います…………… ご出席の皆様によりしく
- 石本 茂樹 (昭33 E) 9月1日付堺製油所へ転勤となり9月7日より大阪の住の江に住んでいます。南海線住吉大社駅の傍の2DKに単身で入居中です。いつでもお立寄り下さい。
- 岡見 晴児 (昭33 J) 現役諸君今季の戦果おめでと来シーズンも頑張ってください。小生、8月末より欧州出張、一泳ぎしてきます。御出席の諸氏によりしくお伝へ下さい。
- 高橋靖周 (昭33 E) 毎年ご案内をいただきながらいつも出席できず誠に申訳ございません。最近ばかり泳ぐ機会もありませんが、昨年沖縄に出張した際、東シナ海で泳いだのと、今年青森に行った際津軽海峡で泳いだのが近年の快事です。仕事の方は、二度目の人事部勤務も早や6年をすぎそろそろ営業店に出なければと考えているところです。只この間に後輩6人が入社し (かつてないことです) 社内の凌霄会員がいつべんに倍増しました。実に心強い限りです。最後に月見の宴のご盛会と水泳部のご発展を祈念いたします。
- 山本 哲弘 (昭34 B) 参加出来なくて残念ですが皆様ニヨロシクお伝へ下さい
- 前田 修 (昭34 S) 骨折のあとが思わしくなく再び爪を抜いたので月見の宴はできるだけ出席したいが、期日近くならないと確答できません。悪からず。
- 永野 一彦 (昭35 E) 前略 本人目下ルーマニアのブカレストに勤務中で元気に致して居ります。
- 宇賀 史郎 (昭35 E) 前略 残念乍ら私用の為出席できません。御出席の皆様によりしく御伝え下さい。 敬具
- 萩原 武 (昭37 T) 今シーズンの数々の御活躍に心から敬意を表します。全国々公立戦に当地に御越し頂きましたのに応援に行けず本当に申し訳なく思っております。恒例の月見宴には残念ながら出席できませんが水泳部の隆盛を心から御慶びし、4年生の諸氏の御努力御苦勞に御礼申し上げます。御出席の先輩方にどうかよろしく御伝え下さい。爽り多いシーズンオフを祈っております。 敬具
- 山田 貴彦 (昭37 E) 昨5月に催された凌泳会全国大会では、卒業以来の方々に多くお会いすることができ、本当に嬉しく思いました。現役諸君には旧三商大戦で元気な姿を拝見し、頼もしく感じました。

- 米田 啓祐 (昭37 P) 本年度水泳部のご活躍ごくろうさまでした。5月の全国凌泳大会をなつかしく思い出しております。
- 平岡 昭朗 (昭38 P) 現役諸君の活躍うれしく思います。“月見の宴”は相生高校野球部が秋季県大会に出場するため忙しくなりましたので残念ながら欠席致します。先輩各位、凌泳会の皆様によりしくお伝え下さい。
- 武政 英幸 (昭39 B) 旧三高大戦で久し振りにプールサイドに立ちました。競泳と共にチームプレーの水球を強くして下さい。オフシーズンに球遊びをしては如何?
- 堤 荘祐 (昭39 P) 現役諸君の活躍嬉しく思います。兵庫インカレなど新聞紙上でも拝見しました。今後の活躍を期待しております。小生相変わらず福祉の現場で格闘中です。校内暴力、家庭内暴力・虐待・障害児問題 etc 毎日社会の暗い面ばかりを見つめ息がつまりそうになることも再々です。しかし時々ですが一本立した子ども(成人になっているケースもありますが)が訪ねてきてくれ、明るい気持ちになることもあり、これが楽しみです。出席の先生、先輩方によりしくお伝え下さい。
- 鈴木 正弥 (昭39 E) 関西インカレ一部昇格おめでとう。驚くのは更に神大を上まわって京大が強いということです。最近勉強を良くするところが運動もできるという傾向なのですか?よく学びよくスポーツをするということは合理的時間の配分と強い意志が必要でしょう。後輩達がかくも立派に活躍していることを嬉しく思います。(よく勉学に励んでいることが前提ですが。)
- 丸山 昱也 (昭40 T) 競泳の目ざましい成績おめでとうございます。OBとしてもうれしく思います。あとは水球ですが、これはコーチもいるし練習時間の割り振りもむずかしいし……二兎を追う者は一兎も得ずのきらいもあるか……? 9/15は失礼します。
- 中畑 勝明 (昭41 B) 月見の宴は都合により欠席させて頂きます。出席の皆様によりしく。4月に転勤になり約4ヶ月久しぶりにチョンガラの生活を過しましたが先月家族を呼び寄せ、また元の生活パターンに戻りました。近くに室内プールがあり休みに子供づれで泳いでいます。
- 宮部 高博 (昭42 L) 現役諸君の御活躍を祈っております。先般、一橋大での諸君の活躍は阿部君(T-15回生)から聞きました。又、田淵五郎先輩には時々お目にかかっています。
- 阿部 洋三 (昭42 T) 全勤の全国大会(於横浜)に出ましたが、50m Bu 32-5で予選落ちしました。元オリンピック選手や全日本クラスがいるため、予選通過は永久に無理という感じですが。素質の違いが大きいという感じですが、自分なりになんとか納得のいく泳ぎを完成させようと3~4回/週のペースで相も変わらず泳いでます。
- 井上 史朗 (昭45 B) 今回東京に転勤になり仕事の内容もがらっと変わりました。新しい仕事なので新入社員のつもりでがんばっていきたいと思います。
- 熊岡 禎二 (昭46 T) 自宅の住所が裏面のように変わりましたのでよろしく。
- 小林 育夫 (昭46 T) 長い間御無沙汰しております。現在社内の水泳部にて月に一回程度水

の中に入ってチャブチャブやっております。水泳部の最近の活躍できるだけ長く維持させて下さるようお願いいたします。皆様の御健康お祈りします。

- 井上与志男(昭47J) 今シーズンの好成績を見てとてもうれしく思います。皆さんの健闘ぶりを目の前で見、応援もしたいのですが、忙しくてなかなか行けなくて申し訳ないと思っています。今後共、学生諸君の水泳部における健闘と学業での頑張りを期待します。諸先輩にどうぞよろしく。
- 米田 章(昭47J) 昨年11月結婚しました。妻の名は圭子です。水泳が好きで今夏は海や川それにプールで思う存分泳ぎました。チャンスがありましたら一度連れて行きます。皆さんによろしく。
- 藤井 元洋(昭48F) ママさんバレーのコーチ(名だけ)をしており、15日に試合がありますので、月見の宴に参加できないと思います。軍靴の響きの一層強まる昨今、我々一人ひとりが反戦・平和を叫び続けなければなりません。「軍備をやめて福祉と教育に!!」「軍隊は戦争の元!!」「オモチャの好きな軍人と金もうけだけの死の商人と選挙だけの政治家が三人集まり戦争の話!!」
- 佐敷 定雄(昭49A) 今シーズンの御活躍おめでとうさんです。多忙ゆえ、あまり泳ぐこともできずくやしい限りです。
- 家本 博一(昭49E) 南山大学では、ソ連東欧諸国の経済を研究しております。近頃、ソ連や東欧諸国では、ストライキや経済の慢性的な不振のため、日常の生活もママならぬとやら。日本は「右向け右!!」となっていますが、水泳部OBは「左向け左!!」
- 大曲 芳郎(昭50J) 兵庫IC・関西IC優勝おめでとう。シーズンオフの学内ソフトボール大会でも優勝目指して頑張ってくれ、西日本各地を動きまわっており、月見の宴には出席できません。
- 藤森 一男(昭51T) 今年は対市大戦の水球の部だけみせてもらいました。来年はもう少し足しげくかようつもりですのでよろしく。(現在流行性結膜炎にかかっていて残念ながら月見の宴は欠席させていただきます。)
- 中西 康之(昭52T) 下を向いても、つま先が見えなくなりました。
- 山田 玲子(昭52F) 水を見ると泳ぎたくなるという衝動にかられなくなりました。雪の降るのを待っている暑い夏です。
- 平石 康(昭53F) 素晴らしい戦績おめでとう!! 関国優勝、全国国公立3位ぐらいとれば 神大の温水プールも夢じゃなくなる。来年も黄金期の山を登りつづけてほしい。粒よりの人材を送りこむよう努力しています。
- 酒井 正人(昭53F) ようやく少し涼しくなりましたが、いかがおすごしですか。私は神戸市教職員の一次試験になんとか受かりほっとしている所です。又、少しひまになりますのでプールを見に行きます。頑張ってください。
- 塩浜 英二(昭53T) 9月15日は仕事がありますので(休みは18日にふりかえです)残

念ながら月見の宴には行くことができません。みなさん来シーズンも頑張ってください。

- 井上 央(昭53 A) 海外協力隊バングラデシュ行きを中止して来年1月より米国オレゴン大学へ留学することになりました。
- 木下 修一(昭53 P) 特に知らせるほどの近況はありません。主務、マネージャーのかた、ごくろうさま。年々この水泳部は強くなっているようで今後非常に楽しみです。来年の全日本インカレを目標として練習に励んでください。
- 村田 邦夫(昭53 J) 今年の4月25日に結婚しました。来年2月には“お父さん”になる予定です。これからもよろしくお願いします。
- 有本 智恵(昭54 J) 今年は6年生担任で昨年の1年生とはまた違った意味での難しさを感じています。教職3年目にして大いに感う………
私生活において大きな変化は残念ながら今のところありません。
- 館谷 彰司(昭55 T) サッカーの好きな上司とめぐり合い毎日サッカーで汗を流しています。今年の夏は3回程泳いだのですがサッカーと水泳は両立しないようです。足首がおかしくなります。では部員方々の来年の健闘を祈って、さようなら
- 中尾 稔(昭55 J) 今年の夏はほとんど泳ぐ機会がなく、海へ一度いったきりです。かわりに最近はおっぱらテニスにあけてくれています。今回、月見の宴は所用の為出席できませんが皆様によろしくお伝え下さい。
- 土井 祐二(昭55 J) 元気でやっております。ひょっとしたら休日出勤の可能性がありますので行けなかったらすみません。今年こそ平穩無事な宴でありますよう心から祈っております。
- 桑本 万里(昭55 P) 今年の春3月27日に体育科の同窓生の人と結婚しました。現在共働きでいままでも親にたよりきって生活していた私にとっては慣れるまで大変ですが二人で助けあって(?)仲よくやっています。
- 上田 剛弘(昭56 B) 今職場のデスクに向かってこのハガキを書いています。クーラーのあまりきいていない部屋で夏は水の中で育った自分にとっては地獄の毎日が続いています。ところで今年の成績は素晴らしく喜んでおります。きっと昨年水泳部にいた色の黒い腹のでた水泳部のガンが卒業したおかげでしょう。本当におめでとう。そしてごくろうさんでした。
- 芝 暢彦(昭56 E) 華々しい戦績に驚きました。御苦労さんでした。自分も現役部員に負けないよう週3回温水プールに通っております。四国に来るときには連絡下さい。
- 森鼻 隆夫(昭56 P) 僕の勤める学校では子供だけでなく母親とも毎日接しなければならないので、気は使いますがそれでも結構楽しく充実した一学期を過ごせました。しかし、肉体的にはしんどくて一時、腰を少し痛め胃炎などでバテましたが大学時代に少しやった水泳できたえていたおかげですぐに回復し、今は(夏休み)せつせと休養に励んでいます。
- 土井 和幸(昭56 T) 弟が入っていますが、考えて泳いでますか? こっちに来て思いですが、やっぱり神戸はええ、わしも神戸へ帰りたい。
月見の宴には仕事のために欠席します。皆様によろしくお伝え下さい。

現役員部寄稿

部員への提言

主将 金 一 波

パート1

闘争心と競争心無くしてチームは存在しえない!

日本ラグビー界の雄、明治大学ラグビー部のあるOBが言った。「俺たちが一番緊張したのは、強力校との対抗戦じゃない。部内での紅白戦の方が怖かった。わずか15のレギュラーのポジションに100名もの部員がひしめく。だから紅白戦じゃ狙うポジションのレギュラーを本気で潰しにかかる。俺なんか怪我をしないように身を守るので必死だった。

基礎体力も他の部員に知られない様こっそりやった。夜中、寮の隣室からカチャカチャと音がする。すき間からソツとのぞくと20キロのバーベルをあげているんだ。真夜中の2時頃に!」クラブは、仲間が集まりワキアイアイと過ごすサロンではない。ひたむきに速くならう、強くなろうとする者たちの闘争の場である。

人間と人間の激しいぶつかりあいの中からこそ、真の友情が生まれ、先輩後輩の純粋な関係が生れるのである。全員が闘争本能をむき出しにして、互いに切磋琢磨し、互いを高めあうことが真のチームワークである。

慣れあいや同情からは何も生れない。私は主将として、一切の私情を廃し、実力最優先で、試合に臨むつもりである。

パート2

組織(チーム)のワクをはみ出せ!

クラブは、営利目的の企業でもないし、一つの思想に基づく政治団体でもない。水泳の好きな連中が、若いエネルギーを発散すべく集まった集団である。各自、組織の中で自分を押えることなく強烈な個性を発揮すべきである。

時に、個性と個性が衝突しても、それをおそれては、勝利という目的に到達することはできない。自分は、水泳部を強くするという情熱において誰にも負けないつもりである。もし、自分の方針に不満があれば、下級生といえども堂々と意見すべきである。そして聞き入れられなければ堂々と反抗すべきである。自分は信念に基づき、反抗を押え、いや、たたきつぶして、自分の信じる方向へチームを引っばって行くつもりである。

パート3

私のクラブに対する価値感とは“勝つ”ことである。

市大戦は63回、旧三商大戦は50回を迎えようとしているのに、マスコミは一向にこれらを取り上げようとしてくれない。早慶戦は、日本最古でもないのに最古の対抗戦として大々的にマスコミに取り上げられている。なぜか？ 答はひとつ、弱いからである。神戸大学体育会水泳部は、競泳、水球という競技スポーツを志すクラブである。競技スポーツを目指す以上、勝たなければならないのである。強いということに全ての価値があるのである。先輩たちが築いた伝統を守るということは、単に試合を続けて行くだけでなく、試合のレベルを高め、メジャーにして行くことである。伝統は継ぐものでなく、作って行く物なのである。

パート4

私の信じる方向

人からはったりと言われようが、夢想家と言われようが、私の夢は、神大水泳部が全日本学生選手権で優勝することである。すべての高校野球児が、たとえ弱小チームでもひたむきに甲子園を目指すのと同様に、我々も学生選手権を真剣に目指すべきである。たとえ今は、まったくの夢であっても、チームの全員、そしてOBが一丸となって真剣に取り組めば、10年か20年先には必ず神宮で戦えるはずである。

その石柱になるためにもまず関西国公立を制し全国々公立上位入賞、関西インカレ常時一部定着を勝ちとらなければならない。

そのためには、まず、トップチームに負けない猛練習や、科学的トレーニングをとり入れた合理的な練習を行ない、部員の意識改革を行なっていきたい。

パート5

最後に部員にのぞむこと

個人個人が自分は何を期待されているか、何をなすべきかを自覚し、期待にこたえようという意志と、他人を押しつけても自分がやろうという気持を常に持ってほしい。

情熱無き者去れ！

闘志無き者去れ！

栄光は常に我らに有り！

——水球主任として——

副将 高城俊介

今シーズン最大の収穫は、関西ポロリーグジュニア戦での優勝であった。去年兵庫県学生選手権で初優勝した時以上に、感動したのではなからうか。その試合内容は、他で書かれているので、ここでは初の試みとしてレギュラーの紹介をしてみよう。

1. 長崎 真人 (ゴールキーパー) : 先代の名ゴールキーパー亀井先輩の後を立派に受け継ぎ、神大ゴールを守ってきた。点を入れられた時、たいへん悔しそうな顔をして、右手で思い切り、水を叩く。そのときあがった水しぶきがプールサイドにいる者にかかり、非難の目を向けられているのだが、本人は気づいていないようである。少し肩が弱いが関西ポロリーグのベストゴールキーパーであることは間違いない。
2. 酒井 康司 (ボックス) : 泳力も有り、ハンドリングもうまいのだが、何故かシュートすると、ゴールにボールが入らない。そのため一年の時からずっとボックスをやっていながら、逆チャンスで相手を切ってノーマークで相手ゴールに突進することはほとんどなく、極力避けているようだ。来シーズンはシュート練習に精を出して、攻撃的ボックスに成長してもらいたい。
3. 長谷川泰造 (ボックス) : 彼がレギュラーの座をつかんだのは、ただ腕が長かっただけである。泳力があるわけではなく、ハンドリングもうまい方ではない。たまたま攻撃に参加して、信じられないシュートミスをする。しかし長い腕を生かして、フロートをマークする技術はなかなかのもので相手パスをカットするもうまい。速攻に参加せよとは望まないが、より信頼できるボックスを目差して欲しい。頑張りたいちゃん!
4. 吉岡 宏之 (ボックス) : ボックス、フォワード、そしてキーパーまでこなす オールラウンドプレイヤーである。今シーズンめっきりシュート力がつき自信を持ったようだ。しかしそんな彼にも欠点がある。それは周知の通り、腹の贅肉である。やせろ よっちゃん!
5. 金 一波 (フォワード) : まさに泳力だけの人である。しかし、対京大戦では、泳力と闘志だけでチーム最高の3得点をあげた。またセンターボールは彼のためにあるようなものだ。来シーズンは巻き足等の基礎練習を十分に積んで、本物の「闘魂プレイヤー」になってもらいたい。
6. 浦野 敏明 (フォワード) : 高校のときから水球をやっており、一年生でありながら、クラブの中で一番水球を知っている。関ポロでは風しんのため出場できなかったが、関ポロジュニアでは素晴らしい活躍であった。彼が関西ポロリーグを支える日は近い。
7. 高城 俊介 (フォワード) : 自画自賛になるので省略する。
8. 太田 雅彦 (フォワード) : 彼は競泳主任というより麻雀主任として巷に知られている。立直をするときの右手の動作が、シュートのときの動作と同じような気がしてならない。
9. 久保田勝己 (ボックス) : 彼は、敵フォワードと一緒に1500m自由型を泳ぐかのように一定の速度でプールを行ったり、来たりする。彼についた相手はただいたずらに体力を消耗する、フォワードキラーである。ボールに触れる機会は少ないが、対市大戦で、最後の相手側シュートを止めたのは彼の顔面であった。

これが主なレギュラーであるが、この他にもレギュラーになれる実力を持った選手が数多くいることは頼もしい。それに応援が素晴らしかった。身を乗り出し叫ぶ声は、どの大学にも負けていなかった。特に女子の場合、まったく試合に出られないのにもかかわらず、いつも試合に来て、声援したり、記録員をしてくれ、たいへん感謝している。この選手層の厚さと応援が我々を勝利に導いたのではなからうか。この勢いに乗り、来年は悲願の関西ポロリーグ戦初制覇を成し遂げたい。

「燃えろ神大戦士達

冷水に耐え 練習に耐え

関ボロ制覇の日は近い！」

現役部員紹介

◎2回生が見た先輩・同輩の偽らざる姿

- 吉田不二彦 (B 33) アスレチックルームを覗いた時、ちょこちょことハンサムがこっちへ来たかと思うと、「新入部員ですね。一緒に頑張りましょう」なんと優しい言葉を、と感激していたら女になら誰にでも優しいとの2回生の評、市大戦では史上稀に見る大事件を起こし、以来人は彼を「〇〇〇大将」と呼びます。
- 南谷 昌宏 (P 33) 通称アカン。水泳面ではあまり目立たなかったのだが、オフには、ソフト、駅伝、その他に大活躍だった。「テニスやアメフトはスポーツやない。」と偏見ともいえる信念を持って泳ぎ続ける彼。酒はあまり強くないが、マイクを持つと放さない。松山千春が出だすともう絶好調。今シーズンはニバタに転向する(?)彼の活躍を期待したい。
- 南 宏尚 (M 33) 日曜日は欠かさず教会へ通っているクリスチャン。そのため試合に出場できないことが多く、立派な体格と頭脳がいかされないのは惜しいかぎりである。去年は金先輩に勝つという豪語も公約倒れ、さて今年はどうな宣言が飛び出すか楽しみである。また、去年の京阪神戦で咲いた花も今は散り、新しい花はいつ咲くことやら。
- 浦野 敏明 (B 33) その顔からOBの上田氏の弟ではないかという説もあった彼は、神大ボロを支えるエース。競泳でも、二百バタ、四百個メと苛酷な種目を泳ぐグテもの食いである。彼の趣味はボーリングで、S君とよく行くらしいですが、M君にはまだまだかかないません。また「ブリブリブリッ子」の彼は、年上女性に可愛がられるという一面もあるようです。
- 土井 健二 (E 33) 丹波の田舎からやってきた彼は、パーマをかけて、シティボーイになろうという愚かな迷想にかられたこともあった。東京遠征の時など彼を1人で町中に出すことは危険きわまりない。まさに「気遣いに刃物、坂田に酒」といったところ。また寿司屋で「赤だし握って」と言ったとか。青だしが美味しいと聞かされ信じていたことも今は昔。
- 舛井 明寿 (T 33) 鳥取から出てきて、急にCITYBOYにあこがれて、パーマをかけて大変身を試みた彼。専門種目は、フリーである。夏の合宿では、ライバルの土井君と1コース

でよく頑張っていたが要領よく怠ることにかけても2人はライバルである。水球ではキーパーとして売り出し中の彼に期待。

- 坂田 純孝 (J 33) 乳幼児期を酒で過ごしたという彼に覚醒の時間はない。体内にアルコールが入ると肉体は凶器と化する。酒乱を絵に書いたような人である。酒が生んだ一つの悲劇である。まことちゃんのさん切り頭を朝夕の様な首でピアダルの様な胴体にくっつけたひょうきんさ。プレイボーイでもあるから怖ろしや!
- 池辺 正雄 (E II 33) 水泳部の娯楽の殿堂。または、快楽の電動。普段は大阪北区役所勤務なので、練習に参加出来るのは土曜日に限られるようだ。しかし、そのハンディにもかかわらず存在感の大きい人。今シーズンは短距離のプレストに期待されるが、タバコの吸いすぎによる肺活量の低下、女遊びによる疲れが出るのではないかと心配されている彼です。
- 越智 順子 (F 33) 初心者として、それも女性で水泳を始めたのは後泳史上はじめてか。このハンドを乗り越えようとする余りフォームを忘れてしまった彼女が現在スイミング・スクールでコーチをしているとか。けれどもこうした彼女の負けず嫌いな肝玉が、記録の更新となって現われるのでしょ。
- 坂東 美枝 (P 33) 神大の名を全関西に轟かせた主人公の一人。ダッシュではどこにいるのかわからないような彼女が、インターバルになると、神大の誇る(?)フリーショット陣をも凌ぐのである。曰く「負けるもんか」負けて涙するそのファイトに心から拍手を贈りたい。普段の彼女は、時々「女の子」の一面を見せて我々をホッとさせてくれる。
- 川島 えみこ (F 33) 昨シーズン層の薄い女子部に於て、ブレ面だけは大丈夫と言わせた彼女。タイムの伸びは素晴らしいというより、恐ろしいものがあり、今シーズンは更に期待される。ただ1000のベストが、2000のラップと変わらないのが強さでもあり、難点でもある。また酒の強さは、ただもう絶句の域であり、コンバでの勇姿は見る者を圧倒する。ファイトじゃ川島!
- 坂井 美奈 (松蔭女子短大) 松蔭からやってきたパワーギャル。水泳が好きで好きでたまらないという彼女の大きなからだでのダイナミックな泳ぎは圧巻。男性顔負けである。ところが昨年暮れに松蔭の合唱部に入部し、最近はほとんど姿を現わしません。しかし、彼女のことだから、ピアノ運びで、秘かにパワーアップしているという噂です。
- 友近 幸恵 (松蔭女子短大) 正確なタイム計測とよく気の付く部員配慮、いつもブルーサイドで忙がしく走りまわっている彼女は、素晴らしいマネージャーである。神大水泳部の今年の活躍は、彼女によるところが大きい。しかしコンバでは、酒が弱いので、すぐに顔を赤くして大きな目の

焦点が定まらないまま夢遊病者のようになり3回生T氏を困らせる。

- 平野 祐子(甲南女子大) シーズンオフに突如神大水泳部に現われた甲南女子大生である。マネージャーの数が足りない我水泳部では救世主的存在である。水泳は全く知らないということなのだが、徐々に覚えてりっぱなマネージャーになることを期待する。心配なのは入部が遅れた為、水泳部のコンバの実体を知らないことです。
- 長崎 真人(B 32) 押しも押されぬ神大の得点王。ポロにおいては、得点阻止王。兵庫インカレのコンバで、優勝カップになみなみと注がれたビールを一気に飲み干し、にっこり笑ってガッツポーズをとったあの場面は、皆の目に焼き付いている。また独特の「エッヘッヘー」も衰えず、今年もやってくれるだろうという我々の期待に応えるに違いない。
- 山野 和則(A 32) 「悪夢の京都の夜」事件を乗り越えて彼は帰ってきた。トレードマークとなったあの紺色キャップを被って全力で練習する根性。昨年、ブレの層の薄さに悩んだ我々だけに、今季、彼にかかる期待は大きい。赤沢さん無き関西国公立で、神大ブレ陣が3位まで独占という夢も実現可能である。一部残留の鍵『男山野、ぐちにあり!!』
- 言岡 宏之(J 32) いつも開いている口。つき出した下唇。歯と歯の間から覗いている舌の先。蝶泳が専門にもかかわらず、しまる気配をみせない腹筋。彼の性格を示すには、これだけで十分。そういう彼にも悩みがあるそうです。それは、なんと、自分が「種なし」ではないかということです。去年は課題であった二蝶を怖がり泳がなかったが、今年はその分一蝶にかけてほしい。
- 具竹 正人(J 32) 中学で歪められた性格は未だ直らず、万物に難癖をつけ執念深い。電気屋に至っては、夜中にイタズラ電話をかけられた。身障者水泳大会で1位になるため、練習の苦勞はせず、種目選択で非常に苦勞しその苦勞が報い1位に入賞した。笑って誤魔化せ自分の失敗とは、彼のためにある迷言と言えよう。百万ドルの笑みを持ち自分の失敗については、かなり寛大なようです。
- 谷水 利行(J 32) 歴代主務の条件を隠し持ったムッツリスケベ。おっとりというよりグズのため何事においてもとろい。つまった便器に小便をためて喜ぶタイプ。賭け事の負けも決して払おうとしない強い心の持主。そんな彼に、主務はびったりの仕事だと思います。ちなみに趣味は野村さんの下宿のあら捜しだそうです。
- 久保田勝己(E 32) お酒を飲んだら、急に人が変わり、彼の狂乱は有名である。ひどい時

には、男女構わず不正行為に走りがちである。又よく食べて、よく寝て、これが彼のtimeにつながるエネルギー源である。しかしこれを見習うと単位の方が心配になってくる。今シーズンも競泳・水球ともに、がんばってもらいたい。

- 松野 圭悟 (B 32) 山口県からスゴイ奴がやって来た。独特のフォームで泳ぎ、長い不振に陥ったが関西ICの1500mではコージさんと共に見せ場を作った。マッチと呼ばれ親しまれている彼はイコマさんに弟子入りし“ナンバ”の手ほどきを受けたが突らず師を困らせた。また酒が入ると芸をしなくても人を笑わせることができる楽しい人です。
- 野村 俊彰 (J 32) 野村先輩が、真黒なヘルメットをかぶり、今はDS×400Fに変わっているが、かつてのKH250Bをさっそうと乗り回している姿は最高でした。しかし酒が入ると「壊れたオモチャ」になる。「イメージが崩れる」とは本人の弁。先日も阪急電車の中で「気持ちん良か〜。」と叫び、暴れまくったとか。また下宿の汚さには開いた口がふさがらない。
- 鈴木 利一 (T 32) 角膜に傷が入ってるのも知らず、痛い目を押さえ微マンする程の雀鬼。“チーチーボンボン”と蒸気船並になきまくる。夜、レポートを書きカレーを食い雑誌を見、夜明けとともに就寝。太陽を知らないため、ふくらはぎがむくみ、慢性と化した。バイクに狂い中型を取った今日この頃です。くれぐれも事故にはご注意ください。
- 池田 裕二 (T 32) 水泳部No1のプレイボーイ。奈良県出身のシティボーイ。下宿から三宮のネオンがすぐ見えるのもうなずける。海外にもよく行かれるらしく、話される内容も国際的。夏の練習より、冬のサッカーなどのレクリエーションの方に熱心なように見られるのはなぜでしょうか。異性の取扱い方の知りたい方は、池田さんにどうぞ。
- 藤本 栄美 (神女薬大) 気が強そうな顔に、筋肉のもり上がった腕。その太い腕は人をしてブリーデンと言わしめる。そのわりに彼女のフリーは流れるようで、決して力に頼るのではない。練習中は、2年生BやSと共に男子部員からも恐れられる存在であるが、オフになってからの彼女を、作者はブリッコと呼ぶ。その原因は3年生Y氏に聞くべし!
- 金 一波 (E 30) 言わずと知れた我が部の主将というより副将 神大体育会のドン、応援団相談役、関西水泳界の顔である。100フリーのみに勝負を賭ける彼の姿は、男の浪漫を感じさせる。(コラ200もガンバレ!) 江夏投手と、渡哲也を、こよなく愛するめんど見の良い優しい男性でもある。今シーズンも気合いを入れて神大水泳部を引っばってくれるであろう。また彼の“金本位制”は有名である。
- 長谷川 泰造 (T 31) プレ面軍団の“機長”である。練習はまじめで皆の信頼も厚い。しか

し、すらりとした長身で眼鏡の奥に静かな微笑を浮べる彼が、周囲を微笑させることも、しばしばである(スポーツ祭のバレーボールでは大活躍でした)。今シーズンは練習に参加する時間も増え、かつての好タイムを更に書きかえることであろう。期待しております。

- 太田 雅彦 (A 31) 副主将(競泳主任)である彼は普段はとても温厚である。しかし、水球の試合となると、とたんに闘志をむき出しにされる。競泳面でも、神大が誇るバック三枚看板の御大として下級生を引っばっておられます。「甲楠荘のカンボジア」と呼ばれる食生活に堪え、今日も雀卓を囲んでいます。
- 山本 徹 (T 31) 真面目が服を着て歩いておられるような方。勤勉・実直・誠実なこととは水泳部員は1人として否定しないだろう。ところが、顔が明石家さんまに似ているため、通称サンマさん。体の大きさと筋力の強さは水泳部NO.1。授業がいそがしいので、練習に余り参加できないそうですが、出来るだけ顔をのぞかせて欲しいです。
- 高城 俊介 (T 31) 押しも押されぬ水球主任。普段は、無口で落ち着いた頼りになる副主将だが、水球のボールと、女と酒を得るととたんに人が変わる。特に酒がはいると、冗舌になり、顔を赤くして底無しに飲まれる。そうなるともう彼を止めることはできない。ダンディな容姿がこりも簡単に崩れ去るものかただただ啞然。
- 酒井 康司 (T 31) もと軽音におられた彼の特技はエレキギター。一度、その華麗な演奏を聞きたいものです。また、去年は車も買われ、横には当然M先輩と、羨ましい限りです。今年もロング陣をひっぱり上級生として、彼によせる期待は大きい。それもこれもM先輩の内助の功にかかっているようです。ニクイヨ、この色男!
- 杉野 誓 (T 31) 静かな男。口数少なく黙々と練習に励む彼の姿は、無言のうちに後輩をひっぱります。去年は、専門外のフリーや個にも挑戦され、工学部ながら、殆んど練習に参加され「部員の鏡」とも言えるでしょう。このように彼は、まじめな印象が強いのですが、もう1つ、その顔だちからホメイニ氏のイメージは健在のようです。
- 田中 俊哉 (T 31) ブールサイドで、何とも形容しがたい笑い声が……、そう、トシヤ先輩のおこしだった。一見年上とは思えないかわいい容姿なので、我がクラスの一部女子の間で「あの人先輩?かっこいいわあ。」という声(つかの間ではあったが)あがったほどである。彼の留年願きは単なるデマではなく真実味が有るのがえも言えず恐ろしい。
- 酒井 潤 (E 31) 私が現在水泳部にいるのは、通称イコマさんが、「あのなあ、君なあ」

と特徴のある手をひらひらさせて、水泳部への入部意志があるか問いつめ、あっという間に部室へつれていかれたためであった。主務の仕事に対する姿勢は、女性に対するのと変わらない熱心さだそうな、いかに発揮された多方面にわたる才能には、ただ尊敬。

- 田伏 正佳 (S 31) 神戸を自転車で暴走しているとの風の便りを耳にする住所不定の謎に包まれた御人。不意を突いた彼の出現ほどチームをなごやかな雰囲気させてくれるものはないでしょう。専門の授業に追われているはずの彼からもれる親しみのある笑みは、今年の記録更新を物語る。「ディア」「アヤ」奇々怪々田伏用語今日も絶好調。
- 石本日生子 (P 31) 怪鳥音を発してチーム全体の士気を高めておられる彼女のエネルギーの源は、あの逆三角形の体型に求められるのか。反面松田聖子になりきってらっしゃるときがあるからもうジキルとハイドですね。神大水泳部女子の命運は女性らしさと強靱な精神力を兼供えた彼女の肩にかかっているのです。「んナあほな」
- 小井戸路代 (P 31) がんばり屋でフェイトあふれる彼女。専門はフリー。教育学部の専門が忙しくあまり練習には、顔をみせてくれません。オフには体重倍増計画をたてているのかと思われる程コロコロとよく太ります。なんせグレンデで転ぶと2度と自力では立上がれないのですから……。
- 国本 温代 (P 31) 女子ブレ陣の旗頭。後輩から「オンヨさん」と呼ばれ親しまれているが本名は「ハルヨ」だそうです。体育科の先輩はいつも体操服を着ており平服を着ることは滅多にありません。愛車ホンダZは外装が落ちながらも健在である。この迷車は六甲台の坂道へ来るとアクセルを踏んでも徐行するという安全設計がなされている。

昭和56年度活動報告

今年度も、3月下旬の屋内プール（佃S.Sと本山S.S）での8日間の泳ぎこみと、4月上旬の鳥取県浜村温泉における春季合宿によって、幕があげた。これについては、前年より神戸商科大との合同練習という懸案を実現すべく、泳ぎこみと春合宿については両校全く合同に行うことになった。ただ人数が30余名に達し、4コースのプールでは狭すぎるのではないかという不安もあった。それでも事前に双方幹部が何度か会って調整をはかり、練習内容は全面的に神戸大側に任せられ、4つの能力別班編成の中で常にメンバーを調整していくことで一致し、両大学合同の合宿は実現することになった。

4泊5日の合宿は、個人・ロング中心に、日によっては早朝練習も加えて1日平均8000mほどの練習となった。ただし最終日の早朝練習は、前夜の打上げコンバにおける一部の者の陰謀によって中止のやむなきに至った。その最大の被害者が時の神大側主将であったことを強調しておきたい。

新学期開始と同時に陸トレの開始と同時に新入部員の勧誘。昨年に続いて多くの優秀な新人が加わり、新入部員は女性3名を含めて11名。さらに松蔭女短大のマネージャーと選手それに神戸女薬大2年の選手計3名を加え、昨年以上の大世帯となった。筆者の3年来の念願であった40名部員構想がまさに実現したのであった。

今年度は浪人その他によるブランクのある選手が多く、合宿での成果維持という目的の為に4月中に屋内プールにおける練習を取入れたが、これは不十分であった。こうして5月の連休あけにシーズンイン。

例年のごとく水温が低いのと、フロの故障、選手の負傷・故障・事故が相次ぎ、先行き不安を感じさせたが、一応計画は順調に進められた。

水球も5月下旬より始め、阪急S.S、茨木高との練習試合も行った。

そして6月14日には、競泳では京阪神三大学戦・水球では県春季水球大会が行われた。水球には3年生を中心とするレギュラーメンバー10名が参加、残りは京都へ向かった。

結果は以下のとおりであり、これとって特筆すべきものはない。それよりも打上げ後の「山野事件」ばかりが記憶に残っている。

注 山野事件とは2年生山野が打上げコンバ後酔いざましに鴨川べりを歩いていたところを何者かに襲われ、左足首を骨折したというものである。

一方、県春季水球大会は育英高校で行われ、新エース浦野の活躍により健闘し、猪名川高校には21対3で勝ったが、2回戦、阪急S.Sに対し4対10で敗れた。

これが終わってからは強化練習 午前、午後の2回に分けて行われ、質、量ともかなりの負荷をかけていった。

6月29日からは5日間の夏季合宿、今年の場合ピーク時には1日2万Mを越える班があった。

(富岡記)

「京阪神三大学戦」6月14日 於 京都大学プール(50m)

・1000m自由型

田中俊哉	1-03-6	3位
呉竹正人	1-04-1	4位
南宏尚	1-05-0	6位

・4000m自由型

久保田勝己	4-55-0	1位
松野圭悟	5-21-1	4位
富岡洋三	5-51-3	6位

・8000m自由型

久保田勝己	10-25-8	1位
松野圭悟	11-16-9	2位

・2000m平泳

山野和則	2-59-8	3位
南谷昌宏	3-14-6	5位
綿谷泰典	3-15-1	6位

・2000mバタフライ

坂田純孝	2-45-0	2位
吉岡宏之	2-56-4	3位
谷水利行	3-09-0	5位

・2000m背泳

坂田純孝	2-42-5	3位
吉田不二彦	2-47-1	4位
野村俊彰	3-17-2	

・2000m個人メドレー

富岡洋三	2-41-1	1位
吉岡宏之	2-47-5	2位
池辺正雄	2-59-1	5位

・4000m個人メドレー

南宏尚	6-41-3	4位
吉田不二彦	6-17-5	(失格)
野村俊彰	6-54-6	(失格)

・4000mメドレーリレー

坂田・池辺・富岡・田中	4-46-5	1位
-------------	--------	----

・8000mリレー

呉竹・金・田中・久保田	9-38-8	1位
-------------	--------	----

総合

1位	京都大学	91点
2位	神戸大学	86点
3位	大阪大学	31点

第7回兵庫県春季水泳大会

6月14日 於 育英高校

神大	猪名	神大	阪急
21	3	4	10

第一試合

神戸大	Q	立命館大
2	I	0
0	II	0
1	III	1
3	IV	0
6	計	1

メンバー

- 1 長崎 真人
- 2 酒井 康司
- 3 長谷川 泰造
- 4 後藤 芳光
- 5 白子 靖則 (2)
- 6 太田 雅彦 (1)
- 7 富岡 洋三 (3)

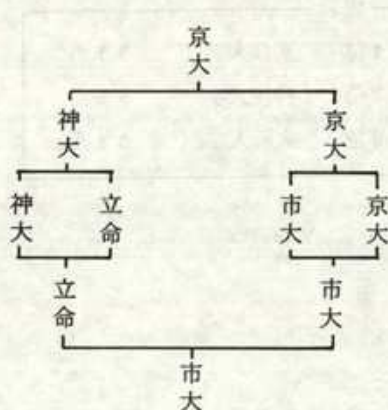
第二試合

神戸大	Q	京都大
0	I	4
1	II	5
0	III	4
2	IV	3
3	計	16

メンバー

- 1 長崎 真人
- 2 酒井 康司
- 3 長谷川 泰造
- 4 後藤 芳光
- 5 白子 靖則
- 6 太田 雅彦
- 7 富岡 洋三

組み合わせ



総合

- | | |
|----|--------|
| 優勝 | 京都大学 |
| 2位 | 神戸大学 |
| 3位 | 大阪市立大学 |
| 4位 | 立命館大学 |

「第51回兵庫県学生選手権」 7月5日 於 西代市民プール(50m)

[男子]

・1000m自由型

金 一波	1-01-0	2位
呉竹正人	1-04-7	4位

・2000m自由型

酒井康司	2-25-1	3位
田中俊哉	2-28-1	5位

・4000m自由型

久保田勝己	4-49-5	1位
酒井康司	5-16-9	4位

・1500m自由型

久保田勝己	19-20-5	2位
松野圭悟	21-41-8	4位

・1000m平泳

長崎真人	1-16-5	1位
池辺正雄	1-16-9	3位

・2000m平泳

長崎真人	2-46-3	1位
池辺正雄	3-00-8	5位

・1000mバタフライ

吉岡宏之	1-08-1	2位
富岡洋三	1-13-0	4位

・2000mバタフライ

吉岡宏之	2-47-2	1位
谷水利行	3-03-6	4位

・1000m背泳

吉田不二彦	1-12-9	2位
太田雅彦	1-14-8	3位

・2000m背泳

吉田不二彦	2-39-9	2位
太田雅彦		3位

・2000m個人メドレー

坂田純孝	2-35-7	1位
浦野敏明	2-39-1	2位

・4000m個人メドレー

坂田純孝	5-42-0	1位
富岡洋三	5-47-6	2位

・4000mメドレーリレー

吉田・長崎・吉岡・金		
	4-36-2	1位

・800mリレー

南・坂田・金・久保田		
	9-36-6	2位

総合

1位	神戸大学	124点
2位	関西学院大学	77点
3位	甲南大学	48点
4位	神戸商科大学	30点
5位	神戸商船大学	27点

〔女子〕

・100m自由型

小井戸 路代 1-27-4 4位

・200m自由型

小井戸 路代 3-14-6 3位

・100m平泳

国本 温代 1-36-4 2位

川島 えみこ 3-26-5 3位

・200m平泳

川島 えみこ 3-26-5 2位

国本 温代 3-33-7 3位

・100mバタフライ

坂東 美枝 1-17-0 2位

・200mバタフライ

坂東 美枝 2-52-6 1位

・100m背泳

石本 日和子 1-30-4 3位

越智 順子 2-03-3 4位

・200m個人メドレー

石本 日和子 3-11-3 3位

・400mメドレーリレー

石本・国本・坂東・小井戸
5-51-6 2位

・400mリレー

石本・坂東・川島・小井戸
5-29-5 2位

総合

1位	武庫川女子大学	118点
2位	神戸大学	58点
3位	神戸女子薬科大学	14点
4位	甲南大学	2点

○第51回兵庫県学生選手権

昨年は我が校の初優勝でわいた試合だが、今年は各校の戦力からすれば2連覇は堅いとされており、興味はむしろ個々のレースの方であった。特に100mの平泳ぎに於ける長崎と神商の坂本、蝶泳に於ける吉岡と商船の斉藤、100m自由型に於ける金と関学の竹田、1500m、400mの自由型に於ける久保田と甲南の南のライバル同志が熾烈なデッドヒートをくりひろげ、見ている者にとってはおもしろいレースであった。記録的にはさほど見るべきものはなかったが、これは照準を次の関西国公立に絞って調整を行ったためでもある。

女子は1年生の国体選手坂東の華々しいデビュー戦となった。またわが校の練習にずっと加わっている藤本(神女薬大)が100m、800mの2種目に制覇、翌日の神戸新聞の見出しにもなった。(富岡記)

「第32回関西国公立戦」 7月11・12日 於 大阪府立大学プール (50m)

[男子]

・1000m自由型

金 一波	1-00-0	3位
呉 竹正人	1-03-8	
田 中俊哉	1-06-1	

・2000m自由型

金 一波	2-21-0	
南 宏尚	2-30-7	
田 中俊哉	2-35-4	

・4000m自由型

久保田 勝己	4-47-3	2位
酒 井康司	5-09-7	
松 野圭悟	5-15-5	

・1500m自由型

久保田 勝己	19-15-1	1位
酒 井康司	21-23-9	6位
松 野圭悟	21-28-6	

・1000m平泳

長 崎 真人	1-16-1	4位
池 辺 正雄	1-17-0	
南 谷 昌宏	1-24-5	

・2000m平泳

長 崎 真人	2-44-6	2位
池 辺 正雄	2-58-7	
南 谷 昌宏	3-08-7	

・1000mバタフライ

吉 岡 宏之	1-07-4	3位
谷 水利行	1-16-4	

野 村 俊 彰 1-23-6

・2000mバタフライ

浦 野 敏 明	2-39-4	4位
谷 水利行	2-57-8	

・1000m背泳

坂 田 純 孝	1-10-6	3位
吉 田 雅 彦	1-14-1	6位
太 田 雅 彦	1-14-1	

・2000m背泳

吉 田 不二彦	2-37-4	5位
太 田 雅 彦	2-46-1	
野 村 俊 彰	3-05-5	

・2000m個人メドレー

坂 田 純 孝	2-34-5	3位
富 岡 洋 三	2-35-2	5位
浦 野 敏 明	2-36-9	6位

・4000m個人メドレー

富 岡 洋 三	5-41-7	4位
吉 岡 宏 之	5-47-9	5位

・4000mメドレーリレー

坂田・長崎・吉岡・金	4-34-9	3位
------------	--------	----

・4000mリレー

田中・富岡・久保田・金	4-09-2	4位
-------------	--------	----

・8000mリレー

浦野・富岡・金・久保田	9-17-7	2位
-------------	--------	----

総合

1位	京都大学	104点
2位	大阪府立大学	66点
3位	神戸大学	62点
4位	大阪大学	46点
5位	京都教育大学	14点
6位	神戸商科大学	13点

[女子]

・100m自由型

寺尾紀子	1-19-3	6位
小井戸路子	1-20-9	

・200m自由型

寺尾紀子	2-59-9	4位
小井戸路子		5位

・400m自由型

坂東美枝	5-21-5	1位
------	--------	----

・100m平泳

川島えみこ	1-35-2	3位
国本温代	1-35-9	4位

・200m平泳

川島えみこ	3-23-7	2位
国本温代	3-26-6	6位

・200mバタフライ

坂東美枝	2-47-2	1位
------	--------	----

・100m背泳

石本日和子	1-31-7	2位
越智順子	1-57-7	6位

・200m背泳

石本日和子	3-10-6	3位
-------	--------	----

・400mメドレーリレー

石本・国本・坂東・寺尾	5-41-0	2位
-------------	--------	----

・200mリレー

寺尾・小井戸・石本・坂東	2-14-3	2位
--------------	--------	----

・400mリレー

寺尾・小井戸・石本・坂東	5-11-7	2位
--------------	--------	----

総合

1位	京都教育大学	93点
2位	神戸大学	58点
3位	大阪教育大学	36点
4位	奈良教育大学	22点
5位	京都大学	19点
6位	大阪大学	19点

[女子]

前年駒不足に泣いた女子も今年は1年生の活躍と他校の弱体化により、2位に返り咲いた。ここでも坂東の2種目制覇が光っている。

〔男子〕

前年屈辱的な敗れ方をし、今年は何としてもその借りを返したかっただけにこの関西国公立戦は最も気合いの入った試合の1つになった。ここ2~3年の特長(ある意味では弱味でもあるが)である 中堅層の充実、それに1年生の活躍により、男子は200m自由型を除く全種目に入賞者を出し、大変賑やかな試合となった。優勝までには程遠いものの総合戦力のバランスとしては理想的な形であり、来年が大変楽しみである。また個人的な感慨になるが、筆者自身の引退試合としていろいろな意味で思い出深い試合なのである。

なおこれ以降は事実上の幹部は3年生に譲られることになった。(富岡記)

「第49回旧三商大戦」 7月19日 於 一橋大プール(50m)

〔競泳の部〕

・100m自由型

金 一 波 1-00-9 1位
吉 田 不二彦 1-03-0 2位

・400m自由型

久保田 勝 己 5-05-7 1位
酒 井 康 司 5-17-8 3位

・800m自由型

久保田 勝 己 10-33-2 1位
松 野 圭 悟 11-33-1 4位

・200m平泳

長 崎 真 人 2-47-1 2位
長谷川 泰 造 3-13-2 6位

・200mバタフライ

吉 岡 宏 之 2-50-5 1位
谷 水 利 行 3-01-1 2位

・200m背泳

坂 田 純 孝 2-36-9 1位

太 田 雅 彦 2-43-8 2位

・200m個人メドレー

富 岡 洋 三 2-38-9 1位
浦 野 敏 明 2-41-1 2位

・400mメドレーリレー

坂田・長崎・吉岡・金
4-40-9 1位

・800mリレー

金・呉竹・浦野・久保田
9-27-2 1位

○競泳の部

総合

1位	神戸大学	89点
2位	大阪市立大学	48点
3位	一橋大学	45点

「第49回旧三商大戦」 7月19日

第一試合

神大	Q	市大	1	長崎 真人
1	I	2	2	長谷川泰造 (1)
1	II	2	3	酒井 康司
0	III	1	4	後藤 芳光
2	IV	1	5	白子 靖則
4	計	6	6	浦野 敏明
			7	富岡 洋三 (1)
			8	太田 雅彦 (1)
			9	高城 俊介
			10	吉岡 宏之
			11	金 一波

第二試合

神大	Q	一橋	1	長崎 真人
1	I	8	2	長谷川泰造
3	II	2	3	酒井 康司
2	III	3	4	後藤 芳光
2	IV	5	5	白子 靖則 (1)
8	計	18	6	浦野 敏明 (4)
			7	太田 雅彦
			8	富岡 洋三 (3)
			9	高城 俊介
			10	吉岡 宏之
			11	金 一波

水球の部

1位 一橋大 2位 市大 3位 神大

—— 圧勝の競泳 策におぼれた水球 ——

旧三商大戦

事実上、幹部交替となるこの試合では、4回生の都合上、競泳は金新主将、水球は富岡前主将の下で、東京小平の一橋プールで行われた。競泳は200m平泳ぎを除く全てに於て1位、総合2位の市大にダブルスコアの圧勝であった。

水球は、まともに戦っては一橋に勝ち目はないと思い、金主将、高城競泳主任、長谷川、太田の4人が秘策を練り、一橋のキーパー小宮山を二日酔いで潰すという作戦に出、試合の二日前から小宮山を連出し酒を飲ませたが、自分達も二日酔いになってしまい、その上、六甲の澄んだ空気に慣れている我々は、光化学スモッグにはほぼ全員がやられる始末、揚句の果てには、市大にも足もとを掬われ、結局、策におぼれ最下位に終ってしまった。わざわざ応援に駆け付けて下さったOBの方には、実に申し訳のしようもなかった。

試合後のコンパは毎度御馴染みの狂乱狂宴、水球の負けのうさを晴らすべく、一橋のプールを壊したとか、壊さなかったとか……

二次会でも、東京のOBが、大枚5万円も下さり、部員一同飲みや歌えのおおさわぎ!

水球は残念ではあったが、友情を深めた楽しい三商大であった。

追：試合後、水球の惨敗を反省した金と長谷川両氏は、慶応の水球監督、名取氏に指導を仰ぎに行きました。一面識もない私達を名取氏は、温く迎えてくれ、親切に練習方法など指導して下さい

いました。この誌面をかりて深い感謝の意を表します。

(金 記)

「第62回対市大戦」 7月26日 於 神戸大学六甲台プール(25m)

[競泳の部]

・1000m自由型

金 一 波	59-4	1位
田 中 俊 哉	1-02-3	2位
高 城 俊 介	1-05-7	3位

・4000m自由型

呉 竹 正 人	5-09-3	2位
土 井 健 治	7-15-4	5位
井 明 寿	7-19-7	6位

・8000m自由型

久保田 勝 己	9-47-4	1位
松 野 圭 悟	11-03-0	4位
鈴 木 利 一	12-49-1	5位

・2000m平泳

長 崎 真 人	2-44-3	1位
後 藤 芳 光	3-07-4	4位
杉 野 誓	3-08-6	5位

・2000mバタフライ

浦 野 敏 明	2-38-8	1位
谷 水 利 行	2-54-5	2位

・2000m背泳

吉 田 不 二 彦	2-41-6	1位
太 田 雅 彦	2-47-0	2位
野 村 俊 彰	3-06-8	4位

・2000m個人メドレー

富 岡 洋 三	2-34-1	1位
吉 岡 宏 之	2-35-4	2位
白 子 靖 則	3-01-0	5位

・4000mメドレーリレー

吉田・池辺・浦野・坂田	4-45-8	1位
-------------	--------	----

・8000mリレー

金・富岡・浦野・久保田	9-09-7	1位
-------------	--------	----

競泳の部総会

1位	神戸大替	104点
2位	大阪市立大学	73点

市 大 戦 S56. 7. 26日 六甲大プール

神戸大	Q	市大
3	I	0
2	II	0
3	III	0
2	IV	1
10	計	1

メンバー

1 長崎 真人	5 白子 靖 則 (3)
2 長谷川 泰 造	6 浦野 敏 明 (2)
3 吉岡 宏 之 (1)	7 太田 雅 彦 (2)
4 久保田 勝 己	8 富岡 洋 三 (2)

——— 実力差を十二分に見せつけた対市大戦 ———

新主将となった金の方針のもと、例年ならメンバーを落とし、なるべく多くの選手を出す方針であったが、伝統ある市大戦を汚さないためにも、神大は、ベストメンバーで試合に望んだ。

競泳は、400自以外すべて1位、100自にいたっては1.2.3位独占という完全な勝利に終わった。宿命のライバル校として市大の奮起を促したい。

水球に於いても、旧三商大での惨敗の恨みを晴らすべく、10対1の完勝に終わった。特に、4回生白子の活躍は、引退前の大きなひと花を咲かせたと言えよう。

そして試合後のコンパでも、例年、市大に圧倒されていたが、酒豪、金、高城、酒乱太田新幹部の下、オーメン坂田、うんこの吉田と、めちゃくちゃに狂乱し、数々のエピソードを作り、市大を完全に圧倒したのであった。

「第28回全国国公立戦」8月8・9日 於 福岡市県営プール(50m)

〔男子〕

・100m自由型

金 一 波	59-9	(7位)
呉 竹 正 人	1-02-9	
田 中 俊 哉	1-03-3	

・200m自由型

高 城 俊 介	2-28-9
井 明 寿	3-14-3

・400m自由型

久保田 勝 己	4-46-4	4位
酒 井 康 司	5-10-5	
土 井 健 司	6-52-7	

・1500m自由型

久保田 勝 己	19-17-1	2位
松 野 圭 悟	21-10-4	
酒 井 潤	23-00-8	

・100m平泳

池 辺 正 雄	1-16-5
長谷川 泰 造	1-24-3
杉 野 賢	1-26-4

・200m平泳

長 崎 真 人	2-46-7
南 谷 昌 宏	3-03-4
綿 谷 泰 典	3-11-7

・100mバタフライ

吉 岡 宏 之	1-07-6
谷 水 利 行	1-15-7
高 城 俊 介	1-29-7

・200mバタフライ

浦 野 敏 明	2-40-8
富 岡 洋 三	2-52-3
谷 水 利 行	3-02-5

・100m背泳
 坂田 純孝 1-09-8 6位
 吉田 不二彦 1-10-8
 太田 雅彦 1-12-7

・200m背泳
 吉田 不二彦 2-38-2
 太田 雅彦 2-47-5
 野村 俊彰 3-06-1

・200m個人メドレー
 浦野 敏明 2-36-3
 坂田 純孝 2-37-8
 富岡 洋三 2-39-1

・400m個人メドレー
 吉岡 宏之 5-57-8

・400mメドレーリレー
 坂田・長崎・吉岡・金
 4-33-0 4位

[女子]

・100m自由型
 小井戸 路代 1-22-6

・200m自由型
 小井戸 路代 3-00-4

・400m自由型
 坂東 美枝 5-30-2 5位

・100m平泳
 国本 温代 1-35-0
 川島 えみこ 1-35-8

・400mリレー
 吉田・浦野・富岡・金
 4-11-0

・800mリレー
 坂田・浦野・金・久保田
 9-16-6 5位

総合

1位	筑波大学	104点
2位	大阪府立大学	31点
3位	金沢大学	25点
4位	京都大学	16点
5位	静岡大学	15点
6位	神戸大学	13点

・200m平泳
 川島 えみこ 3-22-8
 国本 温代 3-30-9

・200mバタフライ
 坂東 美枝 2-52-1 2位

・100m背泳
 石本 日和子 1-29-8
 越智 順子 2-03-3

・200m背泳

石本 日和子 3-19-2

越智 順子 4-22-5

・400mメドレーリレー

石本・川島・坂東・小井戸

5-42-7

・200mリレー

坂東・石本・川島・小井戸

2-19-4

・400mリレー

小井戸・石本・川島・坂東

5-17-2

総合

1位	筑波大学	99点
2位	東京学芸大学	59点
3位	名古屋大学	36点
4位	京都教育大学	21点
5位	愛知教育大学	16点
6位	静岡大学	13点

—— 全員で勝ちとった全国々公立6位入賞 ——

関西国公立3位入賞を果たし、我がチームは、前年度、個人参加の淋しさのうさを晴らすべく、団体に九州に乗り込んだ。

「みんなで、力を合して入賞を勝ちとるんだ、たとえ得点にならなくても、一人一人がベストをつくせば、必ずチームの力として生きてくる」という金新主将の考えのもと、チーム全員が、試合に参加するという方針で臨んだ。しかし全国の壁は厚く、なんとか決勝にのこっても、得点にはとどかず、1500m自の久保田の得点のみで終わった。特に400mリレーは、確実に得点できるとよみ、予選ナンバーを組んだのがたたり、なんと予選落ち。初日を終え実に重苦しい雰囲気吹き飛ばしたのは、神大の誇るメドレー陣であった。全員が背水の陣で、試合に臨み見事4位入賞、これで一気にチームの雰囲気が、いけるぞという感じにかわった。

特に、アンカーを泳いだ金主将の58秒台は、まさにキャプテンここにありという感じであった。勢いにのる神大は、大黒柱久保田の活躍、1回生坂田の100m背、執念の6位入賞、そして最後の800mリレー6位入賞で見事宿願の6位入賞を勝ちとったのである。得点したのは、わずか数人にしかすぎないが、この6位入賞は、全員が、全力を出し切って勝ちとった入賞である。特に次をになり長崎、吉岡、浦野、吉田にとっては得点こそしなかったが、十分全国に通用することを実感としてつかんで、来年度の大きな飛躍の糧となったに違いない。

来年は3位入賞だ！

「第53回関西学生選手権」 8月17~19日

於 臨海スポーツセンタープール (50m)

〔男子〕

・1000m自由型

金 一 波	1-01-4	5位
南 宏 尚	1-02-8	
田 中 俊 哉	1-03-3	

・2000m自由型

金 一 波	2-16-9	3位
呉 竹 正 人	2-23-1	5位
高 城 俊 介	2-28-5	

・4000m自由型

久保田 勝 己	4-45-6	1位
酒 井 康 司	5-06-6	5位
松 野 圭 悟	5-21-8	

・15000m自由型

久保田 勝 己	19-09-9	1位
酒 井 康 司	20-57-9	4位
松 野 圭 悟	20-58-4	5位

・1000m平泳

長 崎 正 人	1-16-5	2位
池 辺 正 雄	1-17-2	4位
長谷川 泰 造	1-25-7	

・2000m平泳

長 崎 真 人	2-49-4	2位
池 辺 正 雄	2-59-8	
杉 野 警	3-14-2	

・1000mバタフライ

吉 岡 宏 之	1-07-4	1位
---------	--------	----

谷 水 利 行	1-12-9	5位
高 城 俊 介	1-29-4	

・2000mバタフライ

浦 野 敏 明	2-37-3	1位
坂 田 純 孝	2-33-7	(失格)

・1000m背泳

坂 田 純 孝	1-10-7	4位
吉 田 不 二 彦	1-11-1	5位
太 田 雅 彦	1-13-0	

・2000m背泳

吉 田 不 二 彦	2-35-5	3位
太 田 雅 彦	2-40-7	6位
野 村 俊 彰	3-04-9	

・2000m個人メドレー

吉 岡 宏 之	2-39-4	5位
---------	--------	----

・4000m個人メドレー

浦 野 敏 明	5-46-7	(失格)
---------	--------	------

・4000mメドレーリレー

坂田・長崎・吉岡・金	4-31-7	1位
------------	--------	----

・4000mリレー

吉田・呉竹・久保田・金	4-06-5	2位
-------------	--------	----

・800mリレー

久保田・酒井・浦野・金
9-17-1 2位

[女子]

・100m自由型

小井戸 路代 1-14-7
石本 日和子 1-20-6
辻 陽子 1-28-2

・100m平泳

川島 えみこ 1-34-3
国本 温代 1-36-3

・200m平泳

川島 えみこ 3-22-1
国本 温代 3-27-5

・200mバタフライ

坂東 美枝 2-49-9

・100m背泳

越智 順子 2-01-3

・200m背泳

石本 日和子 3-19-4
越智 順子 4-15-9

総合

1位	神戸大学	88点
2位	大阪商業大学	71点
3位	関西学院大学	52点
4位	神戸商科大学	34点
5位	滋賀大学	33点
6位	甲南大学	22点

・400m個人メドレー

坂東 美枝 6-11-9 (失格)

・400mメドレーリレー

石本・川島・坂東・小井戸
5-50-2 5位

・200mリレー

小井戸・石本・川島・坂東
5-19-0 6位

総合

1位	天理大学	159点
2位	大阪体育大学	84点
3位	武庫川女子大学	42点
4位	近畿大学	14点
5位	京都教育大学	13点
6位	関西大学	8点

—— 反省の多かった関西インカレ二部優勝 ——

前年度、屈辱の二部転落となった神大水泳部は、再び一部に浮上すべく、全員一丸となって試合にのぞんだ。

神大はその層の厚さに物を言わせ、初日から着々と得点を重ね二日目を終えた時点で、ほぼ優勝確実、一部昇格間違いなしとなった。

特に自由型の酒井康、松野、呉竹の得点、極度の不振に落ち入り、再帰が危ぶまれていた谷水の100m蝶での復活と中堅層の活躍が目立った。しかし、全日本インカレを狙う、金、久保田、長

崎は精彩を欠き、金にいたっては、1000m自において予選59-8、決勝1分1秒4の大乱調、800m維にいたっては、アンカーでベストの10秒落ちで泳ぐというふがいなさ。エースの看板が泣いていた。また、期待の2回生、坂田、浦野の失格、特に坂田に関しては不注意の一言の失格であった。スポーツマンにとって失格は最大の恥であることを再認識してほしい。

来年度、一部定着をねらう我々としては、優勝したものの、まだまだ厳しさに欠ける試合であった。

女子も私学の中では全く歯がたたず、自分達の練習に対する甘さを痛感したものと思われる。

「第19回近畿地区国立大学体育大会」 8月26. 27日

於 大阪大学プール(50m)

〔男子〕

・1000m自由型		南谷昌宏	3-05-1					
金 一波	59-9	2位						
南 宏尚	1-02-1							
田中俊哉	1-03-1							
・2000m自由型		・1000mバタフライ						
金 一波	2-21-4	6位	吉岡宏之	1-06-2	1位			
呉竹正人	2-22-8		谷水利行	1-17-9				
高城俊介	2-29-4		・2000mバタフライ					
・4000m自由型		久保田勝己	4-52-3	1位	浦野敏明	2-35-6	2位	
酒井康司	5-09-5	5位	松野圭悟	5-15-1		谷水利行	3-11-6	
・8000m自由型		・1000m背泳			坂田純孝	1-09-7	2位	
久保田勝己	10-24-4	1位	吉田不二彦	1-10-9	3位	太田雅彦	1-13-5	
酒井康司	10-54-1	5位	・2000m背泳			吉田不二彦	2-36-9	3位
松野圭悟	10-59-3	6位	太田雅彦	2-41-5	6位	野村俊彰	3-10-2	
・1000m平泳		・2000m個人メドレー			坂田純孝	2-34-2	2位	
長崎真人	1-16-0	1位	吉岡宏之	2-36-7	4位	杉野 誓	3-15-4	
長谷川泰造	1-24-6							
・2000m平泳								
長崎真人	2-46-3	1位						

・400m個人メドレー

浦野 敏明	5-38-5	1位
	(大会新)	
南 宏尚	6-22-7	

・400mメドレーリレー

坂田・長崎・吉岡・金	4-33-3	1位
------------	--------	----

・200mリレー

吉田・田中・南・金	1-48-8	1位
-----------	--------	----

[女子]

・500m自由型

寺尾 紀子	33-3	1位
小井戸 路代	35-1	5位

・1000m自由型

寺尾 紀子	1-18-3	4位
小井戸 路代	1-18-8	5位

・1000m平泳

川島 えみこ	1-34-7	4位
国本 温代	1-35-6	6位

・2000m平泳

川島 えみこ	3-18-5	2位
国本 温代	3-25-7	6位

・1000mバタフライ

板東 美枝	1-17-8	2位
辻 陽子	1-43-1	4位

・500m背泳

石本 日和子	41-2	2位
越智 順子	55-6	

・800mリレー

酒井(康)・呉竹・浦野・久保田	9-17-5	1位
-----------------	--------	----

—総合—

1位	神戸大学	101点
2位	京都大学	58点
3位	滋賀大学	46点
4位	大阪大学	33点
5位	京都教育大学	27点
6位	奈良教育大学	16点

・1000m背泳

石本 日和子	1-31-4	2位
越智 順子	2-06-6	

・2000m個人メドレー

坂東 美枝	3-00-9	1位
辻 陽子	3-34-0	(失格)

・2000mメドレーリレー

石本・国本・坂東・小井戸	2-36-0	2位
--------------	--------	----

・2000mリレー

寺尾・小井戸・石本・板東	2-18-0	2位
--------------	--------	----

・4000mリレー

坂東・石本・寺尾・小井戸	5-15-2	2位
--------------	--------	----

—総合—

1位	京都教育大学	77点
2位	神戸大学	64点
3位	大阪教育大学	28点

—— 圧倒的な勝利に終わった近国体 ——

関西インカレ2部優勝、全国々公立入賞と勢いにのり、神大チームは、宿願の打倒京大を果し、4年ぶりに優勝すべく、阪大ブルーにのり込んだ。

戦前の予想通り、神大が誇る黄金の3回生トリオ、吉岡、長崎、久保田が、100m蝶、100、200m平、400、800m自で1位を重ね、800m自に於ては、エントリーした3人が全員得点するという層の厚さを見せ、リレー種目も、エース金を中心に800m継泳、200m継泳、400m と全て優勝し、1回生の浦野の400m個メ、大会初の優勝や、吉田、坂田の活躍で、2位京大にほぼダブルスコアの大差をつけて、ぶっちぎり優勝を果たしたのである。ちなみに前年度はダブルスコアで京大に大敗していたのである。ただ、この試合で残念なことは、「近国体の太田」と異名をとる、第17回大会の背泳の王者、太田氏の不調であった。次年度の奮起を期待してやまない。

女子の方も、4回生、寺尾、辻両名が、久々に第一線に登場し、誤ってもスリムとは言えない体を、根性でひきづり、神大水泳部ウーマンパワーを十分に発揮し、あわや、男女アベック優勝かという処まで行ったが、京教大の人数の差に涙をのみ、少差で2位に甘んじたのである。女子部の来年の一番の課題は部員数であるということを感じた試合であった。

「関西学生水球リーグ戦」 9月6日

於 市大ブルー

第一試合

神大	Q	市大
4	I	5
3	II	1
3	III	4
1	IV	0
11	計	10

第二試合

神大	Q	京大
1	I	0
3	II	2
3	III	2
3	IV	3
10	計	7

メンバー

- 1 長崎 真人
- 2 酒井 康司
- 3 長谷川泰造
- 4 吉岡 宏之
- 5 金 一波
- 6 浦野 敏明
- 7 高城 俊介
- 8 太田 雅彦
- 9 久保田勝己

メンバー

- 1 長崎 真人
- 2 酒井 康司
- 3 長谷川泰造 (1)
- 4 吉岡 宏之 (1)
- 5 金 一波 (3)
- 6 浦野 敏明 (2)
- 7 高城 俊介 (1)
- 8 太田 雅彦 (2)
- 9 久保田勝己

—— 燃えに燃えた関ポロJr戦 ——

新幹部によるチーム結成以来、競泳では常に勝利を重ね、その勢いをそのままポロに移行し、ここ数年の悲願である関西ポロリーグ制覇を実現できるかを占う大事な試合であった。

参加チームの実力は、ほぼ横一線、京大がやや抜けているという感じで、どこが優勝してもおか

しくなかった。

まず第一試合、宿命のライバル市大との試合であった。試合開始早々、3点を入れられ苦しい展開になったが持ち前の泳力と、競泳主任、高城の関ボロJr優勝にかける執念でチームの得点の半分の5点を上げる活躍で辛うじて1点差の11対10で市大を振りきり、決勝にコマをすすめた。決勝の相手は、ここ数年連敗をしいられている京大であり、神大チームには、妙な京大コンプレックスがあった。しかし試合開始早々、そんなコンプレックスを吹き飛ばすような、金主将の、自称“闘魂シュート”他称“はったりシュート”が立て続けにきまり、それにつられるかのように、吉岡のミラクルシュート、ついでにボックスの長谷川までがシュートを決め、エース浦野が期待通りの働きをみせ、テクニシャン太田や酒井康司も実力を100%出しき、キーパーの長崎もゴールを死守し、チーム一体となり、京大を10対7で下し、ひさびさに関ボロJr優勝を成し遂げたのであった。試合後の“いわし亭”でのビールのうまかったことは一生忘れないだろう。

最 後 に

今シーズンを振り返って見ると、実に充実したシーズンであったと思われる。

特に新幹部となった7月26日の市大戦以降すべての試合では負けを知らない。チームの力も一部のスーパースターに頼るのでなく、全体的な層の厚さで成り立っている。我々は前進するのみである。より厳しく激しいトレーニングを積み重ね、真の黄金時代を築こうではないか!

最後に4回生のみなさん、本当に御苦労様でした。そして主務の酒井潤君、激務に耐え、よく働いてくれました。これからは一選手としてもうひと働きして下さい。

余談にはなりますが、19回の得丸先輩、22回の佐敷先輩には、大学祭で大変御世話になりました。この誌面をかりて、お礼申し上げます。

主将 金 一 波

昭和56年度行事報告

昭和55年

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| ○ 4/4 ~ 4/8 | 春期合宿 (鳥取県浜村温泉) |
| ○ 5/24 (日) | 凌泳総会 |
| ○ 6/6 (土) | 新入生歓迎コンパ (五毛会館) |
| ○ 6/14 (日) | 京阪神三大学戦 (於 京都大) |
| ○ 6/15 (月) ~ 6/26 (金) | 強化練習 |
| ○ 6/28 (日) | 関西学生水球リーグ (於 大市大) |
| ○ 6/29 (月) ~ 7/3 (金) | 夏期合宿 |
| ○ 7/5 (日) | 兵庫インカレ (於 西代P) |
| ○ 7/11 (土) ~ 7/12 (日) | 関西国公立戦 (於 大府大) |
| ○ 7/17 (金) ~ 7/18 (土) | 東京地区OB回り |
| ○ 7/19 (日) | 三商大戦 (於 一橋大) |
| ○ 7/26 (日) | 市大戦 (於 六甲台) |
| ○ 7/28 (火) ~ 7/31 (金) | 強化練習 |
| ○ 8/2 (日) | 神大オープン (於 六甲台) |
| ○ 8/8 (土) ~ 8/9 (日) | 全国々公立戦 (於 福岡県営P) |
| ○ 8/17 (月) ~ 8/19 (水) | 関西インカレ (於 大阪大) |
| ○ 8/23 (日) | 関西水球選手権 (於 茨木校) |
| ○ 8/26 (水) ~ 8/27 (木) | 近国体 (於 大阪大) |
| ○ 8/6 (日) | 関西学生水球リーグ Jr戦 |
| ○ 9/8 (火) | 京阪神三大学戦, 神京戦 (於 六甲台) |
| ○ 9/15 (火) | 月見の宴 |

現役部員自己最高記録一覽

〔男子の部〕	自由型				蝶泳	
	100m	200m	400m	800m	100m	200m
金 一 波	57-9	<u>2-16-5</u>	4-57-0		1-11-1	3-19-4
高 城 俊 介	1-04-0	2-20-7	5-19-5		<u>1-29-4</u>	
太 田 雅 彦	1-04-6	2-23-7	5-23-4	11-34-3	1-14-0	2-50-8
田 中 俊 哉	1-02-0	<u>2-20-2</u>	<u>5-31-8</u>		1-15-9	3-03-0
酒 井 康 司	1-03-3	2-20-2	<u>5-06-6</u>	10-40-5		
酒 井 潤	1-08-1		5-34-6	11-32-0	1-31-6	3-37-2
田 伏 正 佳					1-26-9	
長谷川 泰 造						
山 本 徹						
杉 野 誓						
久保田 勝 己	1-00-2	2-10-9	4-38-0	9-47-4	<u>1-09-3</u>	2-35-6
吉 岡 宏 之	1-03-6	2-25-7			<u>1-04-7</u>	2-42-1
呉 竹 正 人	1-02-0	2-18-7	5-09-3	11-16-1		
鈴 木 利 一	1-07-5		<u>6-09-9</u>		1-29-9	3-33-2
野 村 俊 彰	1-08-0				<u>1-23-6</u>	
池 田 裕 二	1-07-2	2-36-5	5-56-7		1-26-4	
谷 水 利 行 人			5-35-4	12-11-6	<u>1-12-9</u>	2-47-0
長 崎 真 人						
山 野 和 則						
松 野 圭 吾		2-25-8	<u>5-15-1</u>	<u>10-59-3</u>	1-22-7	3-53-7
吉 田 不 二 彦	1-01-4	2-17-8			1-22-7	
坂 田 純 考	1-02-5	2-19-4			1-07-6	<u>2-33-7</u>
浦 野 敏 明	1-01-7	2-18-0			1-10-5	<u>2-35-6</u>
南 宏 尚	<u>1-02-1</u>	2-26-0				<u>3-25-8</u>
南 谷 昌 宏						<u>3-39-8</u>
舛 井 明 寿	1-17-8	<u>3-14-3</u>	7-19-7		2-08-3	
土 井 健 二	<u>1-16-4</u>		<u>6-52-7</u>		2-17-3	
池 辺 正 雄	<u>1-12-9</u>					
〔女子の部〕						
石 本 日 和 子	1-14-5				1-26-6	3-45-9
小 井 戸 路 代	1-14-7	<u>2-56-1</u>	<u>6-19-0</u>		1-44-4	
国 本 温 代						
坂 東 美 枝	1-11-7	2-37-3	5-18-5		<u>1-17-0</u>	2-44-5
川 島 えみ子	1-22-2					
越 智 順 子	1-46-2					

—— 社長水路記録

背 泳		平 泳		個 々	
100m	200m	100m	200m	200m	400m
				2-51-7	
1-10-9	<u>2-40-7</u>	1-23-6		2-44-3	6-02-7
				2-46-5	
<u>1-18-5</u>	2-47-0	1-22-1		2-49-0	
1-29-5		1-43-4		3-16-1	7-11-6
1-37-9		1-22-2	2-57-5	3-02-9	6-46-9
1-42-9	<u>3-37-8</u>	1-20-5	3-07-8	3-11-9	
		1-24-2	<u>3-03-0</u>		
		1-24-5	3-08-6	3-15-0	
1-20-3		1-30-7		2-39-9	5-38-4
		1-20-3	2-57-6	2-35-4	5-44-8
<u>1-24-9</u>		1-32-3		2-57-8	
1-40-8		1-29-4			
1-24-2	<u>3-04-9</u>	1-25-1	3-06-4	2-54-6	<u>6-54-6</u>
	<u>3-41-2</u>	1-34-6			
				2-58-9	6-23-1
		1-15-7	2-44-3	2-53-4	
		1-17-1	2-53-6		
	2-46-7				6-22-5
<u>1-10-5</u>	<u>2-35-5</u>			2-44-7	<u>6-17-5</u>
1-08-8	2-30-4			<u>2-34-1</u>	<u>5-42-0</u>
1-17-1	2-48-0	1-20-1	2-51-5	<u>2-36-0</u>	5-38-4
		1-21-9			6-07-3
		1-20-3	2-59-8		
				3-54-5	8-51-9
				3-58-4	
		<u>1-16-5</u>	2-58-9	2-52-6	
1-27-9	3-10-6		3-33-9	3-07-5	<u>6-52-5</u>
				3-20-3	<u>7-14-0</u>
		<u>1-33-7</u>	3-25-7		
1-27-4		1-33-8		3-00-9	6-04-0
		1-32-0	3-18-5		
1-55-3	4-03-1	2-14-2		4-29-7	

歴代10傑表 (男子)

(L) は長水路, (S) は短水路, 無記入はデータ不明

○100m自由型

1	金 一波	58-6(S)	S.56
		59-1(L)	S.55
2	浜川 広海 杉山 和弘	58-8	S.26
		58-8(S)	S.53
4	久保田勝己	1-00-2(S)	S.56
5	村田 邦夫	1-00-7(S)	S.51
		1-01-9(L)	S.51
6	吉田不二彦	1-01-4(S)	S.56
7	富岡 洋三	1-01-5(S)	S.56
8	山本 隆	1-01-7(L)	S.54
9	浦野 敏明	1-01-7(S)	S.56
		1-01-9(L)	S.56
10	田中 俊哉 呉竹 正人	1-02-0(S)	S.55
		1-02-5(L)	S.55
		1-02-0(S)	S.56

○400m自由型

1	久保田勝己	4-38-0(S)	S.55
		4-42-0(L)	S.55
2	上田 剛弘	4-54-3(S)	S.55
		5-02-8(L)	S.55
3	山本 隆	4-55-1(L)	S.53
4	杉山 和弘	4-55-2(S)	S.52
5	金 一波	4-57-0(S)	S.56
6	丸末 一之	5-01-5(S)	S.51
7	酒井 康司	5-06-6(L)	S.56
8	慈幸 弘樹	5-07-8(S)	S.53
9	大林 良和	5-08-9(S)	S.49
10	呉竹 正人	5-09-3(S)	S.56

○200m自由型

1	浜川 広海	2-09-0	S.26
2	久保田勝己	2-10-9(S)	S.55
3	杉山 和弘	2-14-0(S)	S.52
4	金 一波	2-16-5(L)	S.56
5	山本 隆	2-17-0(S)	S.52
6	上田 剛弘	2-17-1(S)	S.55
		2-21-2(L)	S.55
7	村田 邦夫	2-17-5(S)	S.51
8	吉田不二彦	2-17-8(S)	S.56
9	浦野 敏明	2-18-0(S)	S.56
10	呉竹 正人	2-18-7(S)	S.56

○800m自由型

1	久保田勝己	9-47-4(S)	S.56
		9-59-2(L)	S.56
2	山本 隆	10-22-1(S)	S.53
3	上田 剛弘	10-26-4(S)	S.51
4	丸末 一之	10-36-3	S.51
5	酒井 康司	10-40-5(S)	S.55
		11-00-7(L)	S.55
6	杉山 和弘	10-46-1(S)	S.52
7	大林 良和	10-48-4(S)	S.49
8	慈幸 弘樹	10-52-6(S)	
9	松野 圭悟	10-59-3(L)	S.54
10	玉置 明	11-00-4(S)	S.43

○ 1500 m 自由型

1	久保田勝己	18-58-4(L)	S. 55
2	上田 剛弘	20-40-0(L)	S. 55
3	酒井 康司	20-55-0(L)	S. 55
4	松野 圭悟	20-58-4(L)	S. 56
5	玉置 明	22-04-0(L)	S. 43

○ 1000 m 背泳

1	杉山 和弘	1-07-7(S)	S. 53
		1-08-4(L)	S. 53
2	坂田 純孝	1-08-8(S)	S. 56
		1-09-7(L)	S. 56
3	吉田不二彦	1-10-5(L)	S. 56
4	太田 雅彦	1-10-9(S)	S. 56
5	田淵 五郎	1-11-8(S)	S. 27
6	酒井 正人	1-12-5(S)	S. 51
		1-13-6(L)	S. 52
7	木村多加緒	1-12-7(S)	S. 43
		1-13-9(L)	S. 43
8	井上 隆史	1-14-0	S. 36
9	玉木喜代明	1-14-6(S)	S. 44
10	岡村 司	1-16-0(S)	S. 33

○ 1000 m 蝶泳

1	吉岡 宏之	1-04-7(S)	S. 56
2	佐敷 定雄	1-05-2(S)	S. 46
		1-06-2(L)	S. 46
3	富岡 洋三	1-07-0(S)	S. 56
4	山本 隆	1-07-4(S)	S. 54
		1-08-4(L)	S. 53
5	坂田 純孝	1-07-6(S)	S. 56
6	大橋 進	1-09-1(S)	S. 44
7	久保田勝己	1-09-3(L)	S. 55
8	杉山 和弘	1-09-6(S)	S. 52
9	阿部 洋三	1-10-0.1	S. 41
10	浦野 敏明	1-10-5(S)	S. 56

○ 2000 m 背泳

1	坂田 純孝	2-30-4(S)	S. 56
2	杉山 和弘	2-34-1(S)	S. 54
		2-34-2(L)	S. 53
3	木村多加緒	2-34-8(S)	S. 43
		2-37-0(L)	S. 43
4	酒井 正人	2-35-2(S)	S. 52
5	吉田不二彦	2-35-5(L)	S. 56
6	太田 雅彦	2-40-7(L)	S. 56
7	玉木喜代明	2-43-6(S)	S. 43
8	慈幸 弘樹	2-46-5(L)	S. 53
9	松野 圭悟	2-46-7(S)	S. 56
10	酒井 康司	2-47-0(S)	S. 56

○ 2000 m 蝶泳

1	佐敷 定雄	2-29-6	S. 48
2	坂田 純孝	2-33-7(L)	S. 56
3	山本 隆	2-35-2(S)	S. 53
		2-36-9(L)	S. 53
4	浦野 敏明	2-35-6(L)	S. 56
	久保田勝己	2-35-6(S)	S. 55
6	阿部 洋三	2-40-1(L)	S. 41
7	吉岡 宏之	2-42-1(S)	S. 55
8	富岡 洋三	2-46-2(S)	S. 56
9	谷水 利行	2-47-0(S)	S. 55
10	大橋 進	2-48-1(S)	S. 43

○100m平泳

1	鈴木 俊彦	1-14-3(S)	S.42
		1-14-7(L)	S.42
2	慈幸 弘樹	1-15-3(S)	S.53
		1-16-8(L)	S.53
3	長崎 真人	1-15-7(S)	S.56
		1-60-0(L)	S.56
4	池辺 正雄	1-16-5(L)	S.56
5	山野 和則	1-17-1(S)	S.55
		1-17-4(L)	S.55
6	富岡 洋三	1-17-4(S)	S.55
		1-18-5(L)	S.53
7	平石 康	1-17-5(S)	S.51
		1-19-1(L)	S.52
8	菊田 修三	1-19-0	S.44
9	後藤 信人	1-19-7(S)	S.52
10	浦野 敏明	1-20-1(S)	S.56

○200m個人メドレー

1	慈幸 弘樹	2-33-0(S)	S.52
		2-35-6(L)	S.53
2	坂田 純孝	2-34-1(L)	S.56
3	富岡 洋三	2-34-2(S)	S.56
		2-35-2(L)	S.55
4	吉岡 宏之	2-35-4(S)	S.56
		2-36-7(L)	S.55
5	浦野 敏明	2-36-0(L)	S.56
6	平石 康	2-39-0(S)	S.52
7	山本 隆	2-39-1(L)	S.54
8	久保田勝己	2-39-9(S)	S.56
9	鈴木 俊彦	2-40-5(L)	S.42
10	芝 暢彦	2-40-8(L)	S.54

○200m平泳

1	長崎 真人	2-44-3(S)	S.56
		2-44-6(L)	S.56
2	平石 康	2-45-3(S)	S.52
3	鈴木 俊彦	2-45-5	S.43
4	慈幸 弘樹	2-49-2(S)	S.53
		2-52-5(L)	S.53
5	浦野 敏明	2-51-5(S)	S.56
6	富岡 洋三	2-51-9(L)	S.53
7	山野 和則	2-53-6(S)	S.56
8	後藤 信人	2-55-0(S)	S.52
9	阿部 洋三	2-55-5	S.39
10	菊田 修三	2-55-6	S.43

○400m個人メドレー

1	山本 隆	5-25-9(S)	S.53
		5-43-6(L)	S.53
2	久保田勝己	5-38-4(S)	S.55
	浦野 敏明	5-38-4(S)	S.56
4	坂田 純孝	5-42-0(L)	S.56
5	富岡 洋三	5-44-2(S)	S.51
6	吉岡 宏之	5-44-8(S)	S.55
7	富田 洋三	5-45-2(L)	S.55
8	芝 暢彦	5-52-8(L)	S.54
9	平石 康	5-56-2	S.51
10	木村多加緒	5-58-2	S.43

○ 4 0 0 m 混継

1	坂田・長崎・吉岡・金	4-31-7 (L)	S. 56
2	坂田・池辺・吉岡・金	4-34-8 (L)	S. 56
3	吉田・長崎・吉岡・金	4-36-2 (L)	S. 56
4	太田・長崎・吉岡・金	4-37-1 (L)	S. 56
5	杉山・富岡・山本・金	4-37-7 (L)	S. 54
6	杉山・慈幸・山本・中尾	4-39-7 (L)	S. 53
7	酒井・平石・杉山・村田	4-43-9 (L)	S. 52
8	杉山・富岡・山本・中尾	4-45-2 (L)	S. 53
9	吉田・池辺・浦野・坂田	4-45-4 (L)	S. 56
10	坂田・池辺・吉岡・田中	4-46-5 (L)	S. 56

○ 4 0 0 m 継泳

1	田中・金・杉山・山本	4-06-2 (L)	S. 54
2	吉田・呉竹・久保田・金	4-06-5 (L)	S. 56
3	金・久保田・田中・吉岡	4-06-7 (L)	S. 55
4	田中・富岡・久保田・金	4-09-2 (L)	S. 56
5	田中・上田・久保田・金	4-10-1 (L)	S. 55
6	吉田・浦野・富岡・金	4-11-0 (L)	S. 56
7	富岡・久保田・田中・金	4-11-3 (L)	S. 55
8	中尾・慈幸・山本・杉山	4-13-0 (L)	S. 53
9	村田・慈幸・平石・杉山	4-13-1 (L)	S. 52
10	呉竹・太田・高城・田中	4-17-5 (L)	S. 56

○ 8 0 0 m 継泳

1	久保田・酒井(康)・浦野・金	9-17-1 (L)	S. 56
2	酒井(康)・呉竹・浦野・久保田	9-17-5 (L)	S. 56
3	田中・金・上田・久保田	9-19-1 (L)	S. 55
4	坂田・浦野・金・久保田	9-22-6 (L)	S. 56
5	金・呉竹・浦野・久保田	9-27-2 (L)	S. 56
6	酒井(康)・金・田中・久保田	9-32-0 (L)	S. 55
7	中尾・慈幸・杉山・山本	9-33-0 (L)	S. 53
8	南・坂田・金・久保田	9-36-6 (L)	S. 56
9	上田・金・酒井(康)・田中	9-45-9 (L)	S. 54
10	酒井(康)・呉竹・上田・久保田	9-46-0 (L)	S. 55

女子 5 傑 表

○ 1 0 0 F r

1	坂東 美枝	1-11-7(S)	S.56
2	寺尾 紀子	1-13-6(L)	S.54
3	石本日和子	1-14-7(L)	S.56
4	有本 智恵	1-15-3	
5	浜西美智子	1-15-9	

○ 4 0 0 継 泳

1	小井戸, 石本, 清水, 寺尾	5-10-9	S54
2	石本, 坂東, 小井戸, 寺尾	5-11-7	S46
3	有本, 清水, 高木, 浜西	5-12-6	S51
4	坂東, 石本, 寺尾, 小井戸	5-15-2	S56
5	清水, 橋爪, 辻, 寺尾	5-22-6	S53

○ 1 0 0 B a

1	石本日和子	1-25-5(S)	S.55
2	坂東 美枝	1-27-4(S)	S.56
3	竹島 信子	1-27-9	
4	清水 万里	1-29-6	
5	浜西美智子	1-29-9	

○ 2 0 0 継 泳

1	寺尾, 小井戸, 石本, 坂東	2-14-3	S56
2	浜西, 清水, 高林, 有本	2-16-3	
3	清水, 辻, 有本, 寺尾	2-18-0	S53
4	寺尾, 小井戸, 石本, 坂東	2-18-5	S56
5	坂東, 石本, 小井戸, 川島	2-19-4	S56

○ 1 0 0 B r

1	山田 玲子	1-30-3	
2	川島えみこ	1-32-0(S)	S.56
3	国本 温代	1-33-1(S)	
4	坂東 美枝	1-33-8(S)	S.56
5	石本日和子	1-34-1(S)	S.56

○ 4 0 0 混 継 泳

1	石本, 岡本, 坂東, 寺尾	5-41-0	S56
2	石本, 川島, 坂東, 小井戸	5-42-2	S56
3	石本, 国本, 坂東, 小井戸	5-49-5	S56
4	清水, 森田, 辻, 寺尾	6-00-7	S53
5	石本, 国本, 辻, 小井戸	6-03-0	S55

○ 1 0 0 B u

1	坂東 美枝	1-17-0(L)	S.56
2	有本 智恵	1-25-6(S)	S.52
3	石本日和子	1-26-6(S)	S.55
4	辻 陽子	1-32-8	
5	小井戸路代	1-37-7(S)	S.55

○ 2 0 0 混 継 泳

1	浜西, 栗野, 高木, 有本	2-21-8	S50
2	清水, 森田, 有本, 寺尾	2-35-4	S53
3	浜西, 山田, 有本, 高木	2-35-5	S50
4	石本, 国本, 坂東, 小井戸	2-36-4	S56
5	高木, 清水, 有本, 栗野	2-38-8	S52

○ 2 0 0 個 人

1	坂東 美枝	2-59-1(L)	S.56
2	石本日和子	3-07-5(S)	S.56
3	清水 万里	3-09-7(S)	S.52
4	寺尾 紀子	3-12-7(S)	S.53
5	辻 陽子	3-18-4(L)	

昭和56年度決算報告

< 凌 泳 会 >

収 入		支 出	
凌 泳 会 費	6 4 8,0 0 0	「凌泳」発行費	4 3 9,1 0 0
寄 付	1 9 6,0 0 0	交通・通信費	1 2 3,7 6 0
	8 4 4,0 0 0	会 合 費	4 1,0 0 0
会費納入者162名(可能者220名の74%)		基 金 積 立	2 0,0 0 0
		水 泳 部 援 助	2 3 0,1 4 0
			8 4 4,0 0 0

< 全 国 凌 泳 会 >

収 入		支 出	
繰 越 金	1 2 2,4 2 4	記 念 禪 製 作 費	1 6 0,0 0 0
5 6 年 度 積 立	2 0,0 0 0	交通・通信費	2 4,4 4 8
記 念 禪 発 起 人 寄 付	2 5 0,0 0 0	懇 親 会 費	4 8 0,0 0 0
記 念 禪 売 上 金	2 1 6,0 0 0	香 典 (北村先生へ)	1 0,0 0 0
懇 親 会 費	5 0 4,0 0 0	水 泳 部 援 助	3 0 6,0 0 0
雑 収 入	2,8 7 0	雑 費	9 2,7 2 6
	1,1 1 5,2 9 4	5 7 年 度 繰 越 金	5 2,1 2 0
			1,1 1 5,2 9 4

< 水 泳 部 >

収 入		支 出	
繰 越 金	3 0 2,1 4 7	水 連 登 録 費	5 1,0 0 0
部 員 負 担	8 7 3,6 0 0	試 合 練 習 費	3 1 7,0 8 0
育 英 会 援 助	6 7,0 0 0	交通・通信費	1 4 3,8 4 0
凌 泳 会 援 助	2 3 0,1 4 0	燃 料 費	8 8,6 2 0
基 金 援 助	3 0 6,0 0 0	設 備 消 耗 費	9 2,0 2 5
雑 収 入	8,3 7 1	会 合 費	1 8 8,4 4 2
	1,7 8 7,2 5 8	衛 生 費	1 6,2 2 4
		合 宿 費	7 8 2,8 9 0
		体 育 会 費	2 4,0 0 0
		ス ポ ー ツ 傷 害 保 険 費	2 3,2 0 0
		雑 費	9 2,1 4 7
		繰 越 金	1 3 7,7 9 0
			1,7 8 7,2 5 8

昭和57年度予算

< 凌 泳 会 >

収 入

凌泳会会費	850,000
寄 付	150,000
	1,000,000

(5000円×170名)

支 出

「凌泳」発行費	300,000
交通・通信費	135,000
会 合 費	40,000
基 金 積 立	20,000
水泳部援助	505,000
	1,000,000

< 全国凌泳会 >

収 入

繰越金	52,120
57年度積立金	20,000
	72,120

支 出

雑 費	10,000
57年度繰越金	62,120
	72,120

< 水 泳 部 >

収 入

繰越金	137,790
部員負担	1,000,000
育英会援助	80,000
凌泳会援助	505,000
	1,722,790

支 出

水連登録費	50,000
試合練習費	150,000
交通・通信費	155,000
燃 料 費	45,000
会 合 費	375,000
合 宿 費	875,000
雑 費	72,790
	1,722,790

昭和56年度凌泳会費寄付金醸出者御芳名 (3月8日現在)

(単位 千円)

(56年度会費は4,000円, それ以上の額については寄付金とさせていただきます。)

御芳名	醸出額	御芳名	醸出額	御芳名	醸出額
山田幸男	4,000	稲垣信夫	4,000	細田忠雄	4,000
白山源三郎	10,000	山内利男	4,000	岡見晴児	4,000
溝口卓郎	4,000	山崎健吉	4,000	岡村司	4,000
木村芳雄	10,000	三宅林	5,000	北村敏	4,000
北条貞夫	5,000	武内信一郎	4,000	栄川泰介	5,000
小山賢之助	10,000	山越重義	4,000	河村雅彦	6,000
草野嘉一	5,000	岡庄一郎	5,000	山本哲弘	6,000
山田常雄	10,000	小西信次	4,000	前田修	4,000
熊野利夫	10,000	牛島修	4,000	村岡英樹	4,000
宮本伯夫	6,000	中崎日出男	4,000	小郷譲	4,000
小池三郎	5,000	大西繁	4,000	黒田英雄	4,000
{ 以上会費免除者につき }		鈴木富夫	4,000	奥野吉矩	4,000
{ 全額寄付金扱い }		中川正敏	4,000	原謙三	4,000
伊藤英二	4,000	西岡良宏	4,000	宇賀史郎	5,000
太田正元	4,000	石井義章	10,000	上村久治	4,000
福永拓造	4,000	中井三郎	5,000	柳本正雄	4,000
大内義仁	4,000	浜川広海	4,000	井上隆史	4,000
山川初雄	4,000	前原俊夫	4,000	萩原武	4,000
中村市治	12,000	関山道夫	4,000	竹元忠彬	4,000
大西真博	4,000	小原祥男	4,000	岡田重義	4,000
森芳夫	4,000	田渕五郎	4,000	高岡保宏	4,000
山口宗樹	4,000	榊原修造	5,000	山田貴彦	4,000
平岡邦允	4,000	溝口汪	4,000	米田啓裕	4,000
前田寿	5,000	村田邦夫	4,000	太田斎	4,000
平井洋	4,000	堂本直正	4,000	浅間啓介	4,000
岡本忠男	4,000	橋本力	4,000	丸山卓也	4,000
木村京一郎	8,000	富岡道雄	10,000	荒井康之	4,000
熊野泰己	4,000	松田司朗	4,000	鈴木剛弘	4,000
萩野茂希	4,000	山口仁郎	4,000	平岡昭朗	4,000
富中暁	4,000	前田宗雄	5,000	藤岡治男	4,000
君塚英男	4,000	石本茂樹	5,000	林荘八郎	4,000

御芳名	醸出金	御芳名	醸出金	御芳名	醸出金
武政英幸	7,000	井上史朗	4,000	長谷川美智子	4,000
鈴木正弥	4,000	以西吉一	4,000	平石康	4,000
北村義彦	4,000	得丸哲士	4,000	酒井正人	4,000
滝沢章三	4,000	岩切博	4,000	塩浜英二	4,000
丸山昱也	4,000	大橋進	4,000	阿部誠次	4,000
前田和秀	4,000	小林育夫	4,000	平野輝雄	4,000
横田興二	4,000	芳川雄二	4,000	木下修一	4,000
石原紘三	4,000	藤井元洋	5,000	村田邦夫	4,000
真喜志好一	4,000	岡本優	5,000	栗野正子	4,000
樋口周平	4,000	佐敷定雄	4,000	有本智恵	4,000
木下雅浩	4,000	長谷川健	4,000	杉山和弘	4,000
中畑勝明	4,000	印南修三	4,000	中尾稔	5,000
日野康	34,000	植西勝	4,000	慈幸弘樹	4,000
宮本義勝	5,000	家本博一	5,000	館谷彰司	6,000
宮部高博	4,000	瓜生誠二郎	10,000	桑本万里	4,000
久保佑四郎	4,000	大曲芳郎	4,000	松木克江	4,000
由佐禎男	4,000	藤本一男	10,000	上田剛弘	4,000
阿部洋三	4,000	松山玄彦	10,000	芝暢彦	10,000
熊岡禎二	4,000	細谷明夫	4,000	森鼻隆夫	4,000
木内資雄	4,000	佐藤弘之	4,000	土井和幸	4,000
玉置明	4,000	中西康之	4,000	山本隆	4,000
木村多加緒	4,000	伊藤良一	4,000	橋爪啓子	4,000
菊田修三	4,000	浦本幸二	4,000		
井上与志男	4,000	山田玲子	5,000		

凌 泳 会 会 則

第1章 総 則

(名 称)

第 1 条 本会は凌泳会と称する。

(事 務 所)

第 2 条 本会は事務所を神戸市灘区六甲台町神戸大学に置くこととし、宛名は同大学学生課
気付「凌泳会」とする。

(目 的)

第 3 条 本会は会員相互の連絡と親睦を図ると共に、神戸大学水泳部の発展に寄与すること
を目的とする。

(事 業)

第 4 条 本会は前条の目的を達成する為に左記の事業を行なう。

1. 会誌「凌泳」の発行
2. 会員相互の連絡
3. 定例総会及び各種の親睦会合
4. 神戸大学水泳部発展の為に指導及び援助
5. その他、本会の目的を達成するに必要な事項

(会則の改廃)

第 5 条 本会則の制定及び変更は総会の決議によって行なう。

第2章 会 員

(会 員)

第 6 条 本会の会員を分けて正会員、特別会員、及び在学会員とする。

(正 会 員)

第 7 条 正会員とは、次のものを云う。

国立神戸高等商業学校 国立神戸商業大学 神戸経済大学 神戸大学
以上の諸学校に於て在学中水泳部に所属したもの。

(特別会員)

第 8 条 特別会員とは次のものを云う。

1. 前条の諸学校で水泳部々長及び副部長であった者及び現在ある者。
2. その他、総会の決議によって推薦した者。

(在学会員)

第 9 条 在学会員とは次のものを云う。

現在、神戸大学々生で水泳部に所属する者。

第10 (会 費)

- 第10条 正会員は会費として年額4,000円を当会へ納入する。
但し卒業後44年を経過した者は会費を免除する。

第3章 役 員

(役 員)

- 第11条 本会には左の役員を置く

会 長	1 名
副 会 長	2 名
監 事	若干名
幹 事 長	1 名
本 部 幹 事	若干名
支 部 幹 事	若干名

(改 選)

- 第12条 役員の変更は総会の決議によって行なう。

(任 期)

- 第13条 役員任期は1年とし再選を妨げない。

(会 長)

- 第14条 会長は本会を代表し且つ統轄する。

(副 会 長)

- 第15条 副会長は会長を補佐し、会長事故ある時はこれを代行する。

(監 事)

- 第16条 監事は本会の会務及び会計を監査する。

(幹事長及び本部幹事)

- 第17条 幹事長及び本部幹事は会長、副会長を補佐し総括的会務の執行に当る。

(支 部 幹 事)

- 第18条 支部幹事は各支部の事務を執行すると共に、本部の諸活動に協力する。

第4章 総 会

(招 集)

- 第19条 総会は少くとも2週間以前に会議の目的を明らかにした通知を以て会長がこれを招集する。

(時 期)

- 第20条 総会は毎年5月に開催するものとし、臨時総会は必要に応じて招集する。

(議 決) 正

- 第 2 1 条 総会の決議は出席会員の過半数をもって決する。
但し、当該議事につき書面をもってあらかじめ意思を表示したものは出席とみなす。

第 5 章 会 計

(経 理)

- 第 2 2 条 本会の経理は、会費・寄付金及びその他の収入によって賄う。

(決 算)

- 第 2 3 条 本会の収支決算については、会計の監査を経た上、春季総会に於て報告しその承認を受ける。

(期 間)

- 第 2 4 条 本会の会計年度は、毎年 4 月 1 日より翌 3 月 3 1 日までとする。

第 6 章 雑 則

- 第 2 5 条 本会則は、昭和 5 3 年 5 月 1 3 日より発効する。

凌泳会役員名簿

会 長	小 山 賢之助 (学1)	
副 会 長	山 口 宗 樹 (学10)	吉 野 榮 (学9)
監 事	伊 藤 英 二 (学7)	平 井 洋 (学11)
幹 事 長	石 井 義 章 (学22)	
幹 事	井 上 与志男 (新18)	後 藤 信 人 (新26)
会計担当幹事	長谷川 健 (新22)	
凌泳編集幹事	堤 莊 祐 (新12)	
支 部 幹 事		
〔 関 東 〕	支部長 山 口 宗 樹 (学10)	
	富 岡 道 雄 (新4)	山 口 貴 彦 (新10)
	樋 口 周 平 (新14)	丸 末 一 之 (新25)
〔 中 部 〕	浅 間 啓 介 (新10)	
〔 中 国 〕	大 内 義 仁 (学8)	
〔 四 国 〕	中 村 市 治 (学9)	
〔 九 州 〕	印 藤 勝 美 (学13)	
〔 関 西 〕		
	京 都	柳 本 正 雄 (新10)
	大 阪	井 上 与志男 (新18) 後 藤 信 人 (新26)
	姫 路	山 口 仁 郎 (新5)

物 故 会 員

氏 名	卒業年次	氏 名	卒業年次
藤 井 正太郎	特	太 田 清	昭 7 高 26
多 田 德 雄	特	土 肥 駒次郎	7 26
北 村 五 良	大 6 高 11	鍵 本 芳 次	8 学 2
小笠原 房 穂	10 15	小 西 熊 雄	9 3
中 村 精 一	10 15	片 山 四 郎	11 5
加 納 茂	11 16	栄 口 昌 二	12 6
野 田 曾 一	11 16	村 上 秀 造	13 7
岡 本 幸 一	12 17	高 橋 徹	13 7
榊 原 零 一	12 17	和 泉 真 弘	14 8
山 村 馨	12 17	松 木 勇	14 8
山 下 虎 蔵	13 18	新 原 拓 夫	15 9
鈴 木 不覇雄	14 19	部 坂 克 夫	16 10
繁 益 繁治郎	14 19	恩 地 正 伍	16 10
古 林 喜 楽	14 19	鈴 木 啓 介	16 10
三 輪 嘉一郎	15 20	井 上 正 幸	11
高 田 寿 三	15 20	柏 木 慶 三	16 11
大 谷 親之輔	昭 2 21	稻 垣 懋	16 11
大 島 勝 利	2 21	山 口 八 郎	17 12
中 村 毅	2 21	池 田 勲 治	18 13
浅 野 猛 雄	3 22	前 田 礼 之	19 14
田 川 亮 一	3 22	伊 藤 一 郎	21 16
阪 本 豊 一	3 22	衣 川 昭	24 専 1
作 田 耕 三	3 22	中 島 功	28 新 1
東 光 武 三	4 23	今 井 彰	30 3
川 西 武 雄	7 26		

商 神

1. 商神彩なす翹をあげて
靈杖遙に東を指せば
靈しき果実は雲間を漏りて
秋津島根に落つとぞ見えし
所はここぞ菊水かおる
湊河原の近きほとりに
かく伝わりし天のさとしも
人はさとらで幾年か経ぬ
2. 神の息吹のこもりて成りし
靈果いかで地に朽つべき
豊栄のぼる朝日のかげに
八州の外の潮風吹きて
いつしか催す気運に乗じ
わが学校ぞ世に生まれたる
眠る 商界夢さますべき
使命は天の授けし所
3. 此処摩耶の山六甲の峰
連り亘る山ぶところに
教の若鷹はぐくまれ居て
静かにうかぶ雲の行きかい
朝妙なる琴のひびきは
敏馬の浜に松を吹く風
夕やさしき舞の姿は
茅渚の浦曲に白帆行く影
4. 希望に満てる春の潮の
寄せてはかえす清き渚や
熱誠もゆる夏の盛りを
いたわる風の葦合の里
須磨や明石をかけて照るらん
月には物のあわれをぞ知る
冬は凜たる後に嵐
奔馬空行く勢示す
5. 天れ山水の秀麗の気は
偉人傑士を起たしむとかや
天の使命を胸に収めて
清き自然に抱かれながら
筋骨鍛え智徳を研く
切磋琢磨の三年の春秋
養い得たるうつ物の意気
抱負を語れや干余のおのこ
6. 金歌無欠の三千余年
かがやく光は剣の誉
心はおなじ大和男子の
我等は牙 を執って起ちなん
日出ずる旗を高くかさして
日入らぬ国と手を携えて
目ざす平和の戦の場に
匂う御国の花ぞ咲かせむ
7. 雄飛の時ぞとねぐら離れて
野に立出ずる蒼鷹幾羽
爪も研ぎぬ力も足りぬ
尋にも余るつばさを張れば
枝の百鳥皆おそれ伏す
扶搖万里の風を起して
おのが向々東に西に
雲に突き入る勢見るや

商 神

しゅうしん あやなす つばさをあげて
れいじゅう はるかに ひがしをさせば
くしき このみは くもまをもりて
あきつ— しまねに おつとぞ みえしと
こ—ろは ここぞきくすいか おるみ
つなとが わらのち かきほとりに
かくつたわりしあめのさとしも
ひとはさとらで いくとせかへぬ

宇宙を股に

神戸大学応援歌

作詩 古林 喜楽

作曲 竹内 平吉

勇壮に元気よく

まやろっこりにいだかれーて
みどりのそのにはなふりかゝる
ここおかのべのわこりどーが
もゆるおもいをむねにひーめ
まなぶやゆうひのときをきし

一

摩耶六甲に抱かれて
緑の園に花ふりかかる
ここ丘の上の若人が
燃ゆる思いを胸に秘め
学ぶや雄飛の時を期し

二

ヒマラヤ杉を背に受けて
茅渚の浦ゆ紀伊の山
右手に四国よ淡路島
左手にうかぶ金剛山
大らかにぞ抱負わく

三

燃ゆる紅葉たそがれて
宵聞せまる山路を踏めば
真理に挑む若鷹が
ネオンの海を見おろして
いよ決意をかたむ哉

四

身に沁みわたる峯おろし
冬来りなば春近し
巢立つ晴れの日時せまる
翼ひろげて悠然と
宇宙を股に羽ばたかん

栄光は常にわれらに

神戸大学応援歌

作詞 数島富四雄

作曲 黒田 浩一

編曲 土橋 康宏

たて や たて われらがえらばれ
 しせんし ぼくのたかき ほまれにかけて た
 た め さ す し ょ う り の か む り
 ふ る え い さ ふ る え ち か ら の か ぎ り か が や か ん え い
 こ う は つ - ね に わ れ ら - に -
 こ う べ こ う べ こ う べ わ れ ら が こ う べ だ い が - く ゆ け

<p>三</p> <p>開けや開け われらが選ばれし戦士 青春の若き血潮たぎらせ 相和するかちどきの歌 振るえいざ振るえ意気いや高く 輝かん栄光は常にわれらに 神戸 神戸 神戸 われらが 神戸大学</p>	<p>三</p> <p>征けや征け われらが選ばれし戦士 若人の大き誇を秘めて 胸深く制覇の誓 振るえいざ振るえ雄々しく強く 輝かん栄光は常にわれらに 神戸 神戸 神戸 われらが 神戸大学</p>	<p>一</p> <p>起てや起て われらが選ばれし戦士 母校の高き誓にかけて ただ目指す勝利の栄冠 振るえいざ振るえ力の限り 輝かん栄光は常にわれらに 神戸 神戸 神戸 われらが 神戸大学</p>
---	---	--

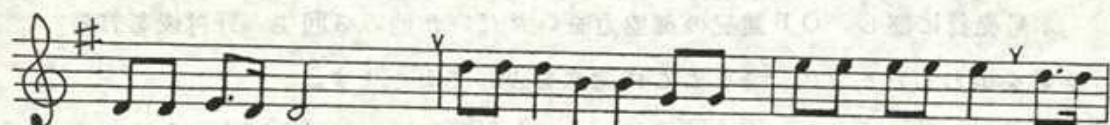
水 泳 部 歌

作詩 古林 喜楽

作曲 山田 貴彦



1. ま やろっこりに いだかれて ここむこがおかの
 2. フリー ブレスト バタフライ バックリレーに
 3. ああなつかしの すいえいぶ ろっこりだいの



みず きよし ちぬのうらわを みおろしてしぶ
 ボロまでも ぬうえいけんじの いきたかしいざ
 プールべに つきみのえんで およぎやめくる



き(しぶき) をあー げ る け ん だー ん じ
 や(いざや) ーきそ わ ん う で をーぶしつ
 な(くるな) つまっ ー て い き りー た つ

一、摩耶六甲に抱かれて

ここ六甲ヶ丘の水清し
 茅渚の浦曲を見下して
 しぶきをあげる健男子

二、フリー ブレスト バタフライ

バックリレーにボロまでも
 競泳健児の意気高し
 いざや競わん腕を撫し

三、ああ懐しの水泳部

六甲台のプール辺に
 月見の宴で泳ぎ止め
 来る夏待っていきり立つ

編 集 後 記

身を刺すようなプールの水に口唇を紫色に染めながらも練習は日毎ハードになっていきます。今年は兵庫インカレV3はもちろん関西国公立大会優勝、関西インカレ1部定着等の目標を達成し、神大の黄金期を構築すべき大切な年となりそうです。

さて今年もようやくここに「凌泳」を発行することができました。本年号は財政難によりページ数が少なく物足りないものとなりましたが御了承下さい。次号にはより多くの御寄稿を頂きますようお願い致します。

本号発行に際し、OB諸兄の御協力をいただいた他、3回生 野村俊彰君の手数を煩わしたことに付き、ここに謝意を表しておきます。

最後に本号より横書きとさせて頂きましたが、何かお気づきの点が御座いましたら宜しくお知らせ下さい。

発行責任者 谷 水 利 行

昭和五十七年五月二〇日発行	発行所	神戸市灘区六甲台町二
	凌 泳 会	神戸大学水泳部
原稿等郵送宛先	▽六五七	神戸市灘区六甲台町二
		神戸大学 水泳部
会費等振込口座	郵便振替口座番号	神戸 一三三一
	加入者名	神戸大学凌泳会
編 集		神戸大学水泳部凌泳編集係
発行者	谷 水 利 行	
印刷所	神戸市東灘区住吉町垣内三	
	小野印刷株式会社	
	電話(〇七〇)八五一〇六〇一	